

FMV ESPRIMO

取扱説明書 スタートガイド

Step1 パソコンの品名を確認してください

お使いのパソコンを識別するために品名を書きおきましょう。

保証書の左上またはパソコン本体に記載されている品名を書き写してください。

品名 **ESPRIMO**



Step2 箱の中身を確認してください

重要

- ▶ ご購入後すぐに添付品をご確認ください。添付品が不足している場合は、富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口（→ P.49）にご連絡ください。添付品は絶対に紛失しないように大切に保管してください。添付品を紛失した場合は、有料でのご提供となる場合があります。また、ご提供できない添付品もあります。あらかじめご了承ください。
- ▶ Officeをお使いになるときは、プロダクトキーカードに記載されたプロダクトキーが必要です。

記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。すべて大切に保管してください。

添付品の名称	ESPRIMO		
	WD2/D2	WD1/D2	WD-G/D2
パソコン本体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保証書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取扱説明書<スタートガイド>（この本です）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
電源ケーブル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キーボード	<input type="checkbox"/> [注1]	<input type="checkbox"/> [注1]	<input type="checkbox"/> [注1]
マウス	<input type="checkbox"/> [注2]	<input type="checkbox"/> [注2]	<input type="checkbox"/> [注2]
乾電池（キーボード用、マウス用）	<input type="checkbox"/> [注3]	<input type="checkbox"/> [注3]	<input type="checkbox"/> [注3]
ワイヤレスレシーバー	<input type="checkbox"/> [注3]	<input type="checkbox"/> [注3]	<input type="checkbox"/> [注3]
フット（設置台）ネジ付き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
Officeのプロダクトキーカード	<input type="checkbox"/> [注4]	<input type="checkbox"/> [注4]	<input type="checkbox"/> [注4]
MiniDP → DP 変換ケーブル	<input type="checkbox"/> [注5]	—	—
ゴム足	—	<input type="checkbox"/>	—

注1：ご購入時にワイヤレスキーボードを選択した場合は、ワイヤレスキーボードが添付されています。

注2：ご購入時にワイヤレスマウスを選択した場合は、ワイヤレスマウスが添付されています。

注3：ご購入時にワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスを選択した場合に添付されています。

注4：ご購入時に Office を選択した場合に添付されています。

注5：ご購入時にグラフィックカード（NVIDIA Quadro P620）を選択した場合に添付されています。

Step3 使い始める準備をしてください

次の点に注意し、本書に記載された手順に従って準備してください。

- 本書の中で指示があるまで、インターネットに接続しないでください。
- Windows のセットアップ中に電源を切らないでください。
- トラブルが発生したときは、あわてずに本書の「困ったときは」（→ P.42）をご覧ください。

目次

このパソコンをお使いになる前に	2
マニュアルの表記	3
安全上のご注意	6
取り扱い上のご注意	9
パソコンの使用環境についての注意	9
パソコンの取り扱いについての注意	11
各部の名称について	12
セットアップする	
セットアップの流れを確認する	15
パソコンの準備をする	16
WD2/D2 および WD1/D2	16
WD-G/D2	21
キーボード/マウスを準備する	23
Windows のセットアップをする	25
インターネットに接続する	28
有線 LAN でインターネットに接続する	28
無線 LAN でインターネットに接続する	29
Microsoft アカウントに切り替える	30
Microsoft アカウントとは	30
Microsoft アカウント切り替え方法	30
「アップデートナビ」の初期設定をする	34
「はじめに行う設定」で初期設定する	34
使い始める	
回復ドライブ（リカバリ用）を作成する	37
32GB 以上の容量を持つ USB メモリを 用意してください	37
回復ドライブ（リカバリ用）を作成する うえでの注意	37
回復ドライブ（リカバリ用）の作成手順	37
「いつもアシスト ふくまる」を利用する	38
デバイス暗号化の回復キーを保管する	38
「富士通アドバイザー」を活用する	38
サポート&サービス情報	39
「取扱説明書<活用ガイド>」を読む	39
トラブル解決	39
機種別サポート情報・ダウンロード	39
「富士通アドバイザー」（スマートフォン版） のご紹介	39
「ソフ得」ソフト使い放題	40
こんなアプリが使えます	40
使い放題ツール	40
家族のパソコンやスマホを守る	40
メールアドレスを登録する	41
家族みんなのデバイスに、「マカフィー リブセーフ」をインストールする	41
他のウイルス対策アプリを利用する場合	41
バックアップする	41
C ドライブバックアップガイド	41
困ったときは	
使い方がわからない	42
本製品の取り扱い方法や使い方	42
Windows の使い方、インターネットの 閲覧やメールなど	42
動作がおかしい	42
アプリの使い方	43

「Word」や「Excel」、「Outlook」 （メールアプリ）などの Office 製品の お問い合わせ先	43
ウイルス対策アプリのお問い合わせ先	43
その他のアプリのお問い合わせ先	43
よくあるトラブルと解決方法	44
トラブルが発生した場合、まず次の点を 確認してください	44
起動・終了時のトラブル	44
ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウス のトラブル	46
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	46
パソコンを以前の状態に戻す	48
「ネットで故障診断」で診断する	48
富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ 窓口	49
お問い合わせ窓口を利用するうえでの 注意	50
修理の申し込み	50
修理を申し込むうえでの注意	50
修理の申し込み方法	51
お引き取りとお届け（パソコン修理便）	51
修理状況の確認	51
その他の修理サービスのご案内	51
パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）	
パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）	52
リカバリを行う場合とは	52
リカバリ方法の種類	52
この PC を初期状態に戻す（リカバリ） 準備	53
リカバリするうえでの注意	53
リカバリ中に起こる可能性のあるトラブル の解決方法	53
この PC を初期状態に戻す（リカバリ）	54
パソコン内のデータからリカバリする	54
回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリ する	55
リカバリ USB メモリを購入してリカバリ する	56
こんなときは	
パソコンの電源を完全に切るには	57
起動メニューの表示のしかた	57
パソコンを廃棄・リサイクルするときは	57
PC リサイクルマークについて	57
パソコンの廃棄・譲渡時のストレージ上の データ消去に関するご注意	58
付属品の廃棄について	58
疲れにくい使い方	58
仕様一覧	
パソコン本体の主な仕様	59
仕様一覧の注記について	61
富士通パーソナルコンピュータ修理 規定	62

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとってください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内に格納しています。セッティング時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。これは故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合があります。そのため、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、SSD、光学ドライブ、キーボード、マウス、ACアダプタ、

電源ユニット、ファン

消耗品について

- ・バッテリーパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品のご利用について

- ・本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。
 - ・本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)
 - ・本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
 - ・本製品の構成部品（プリント基板、光学ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。
 - ・本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質>の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
- 本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記URLをご覧ください。
<http://www.fmwworld.net/fmv/jmoss/>
- ・クラス1レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

クラス1レーザ製品 IEC 60825-1:2014

- ・この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- ・本製品に接続するLANケーブルはシールドされたものでなければなりません。
- ・本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

マニュアルの表記

本書の内容は2019年5月現在のものです。

お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。


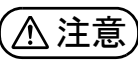
■操作手順と画面について

Windows 10は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。また、ソフトウェアやドライバなども機能の改善や追加のため、適宜更新されます。そのため、本書をご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。

■安全にお使いいただくための絵記号について

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。








□警告レベルを表すシンボルマーク

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。




□危害や損害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

 アース線を接続せよ	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。	 プラグを抜け	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
 一般指示	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。絶対にはがしたり、汚したりしないでください。





■本文中での書き分けについて

本書には、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称について」、「仕様一覧」、製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています (→ P.38)。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

■操作手順について

本書では、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

■「ハードディスク」の表記について

SSD 搭載機種の場合、このパソコンに内蔵されたハードディスクを示す箇所は、SSD に読み替えてください。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows または Windows 10
Windows 10 Pro 64 ビット版	Windows または Windows 10
Microsoft Office Personal 2019	Office または Office Personal 2019
Microsoft Office Home & Business 2019	Office または Office Home & Business 2019
Microsoft Word 2019	Word [注 1]
Microsoft Excel 2019	Excel [注 1]
Microsoft Outlook 2019	Outlook [注 1]
Bluetooth®	Bluetooth
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	Blu-ray Disc ドライブまたは光学ドライブ [注 2]
スーパーマルチドライブ	光学ドライブ [注 2]
SSD	ストレージ
ハードディスクドライブ	
ATOK 2017 for Windows	ATOK
マカフィー® リブセーフ™	マカフィー リブセーフ
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題
i-フィルター® for マルチデバイス	i-フィルター

注 1：これらのアプリをまとめて「Office」と表記することがあります。

注 2：搭載されている光学ドライブは、「仕様一覧」(→ P.59) でご確認ください。

また、本文中では本製品をシリーズ名で表記することがあります。シリーズ名は「仕様一覧」(→ P.59) でご確認ください。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

警告



プラグを抜く

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



一般禁止

梱包に使用している袋類は、お客様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お客様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。



一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけて、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



一般禁止

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般指示

電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



アース線を接続せよ

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



一般禁止

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

注意



一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気が多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。



一般禁止

本製品やACアダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



プラグを抜く

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。

使用時

警告



火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。

火気禁止



端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

プラグを抜く



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

プラグを抜く



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お様が近くにいる場合はご注意ください。

一般禁止



排気孔付近やACアダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらさないでください。特に、お様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。

一般禁止



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。

水場使用禁止



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。

水ぬれ禁止



使用中の本製品やACアダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないようにしてください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

一般禁止



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・ショートさせない
- ・加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れてない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けをしない



一般禁止

電源ケーブルやACアダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルやACアダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルやACアダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。



一般指示

無線LAN、無線WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFCポート、ワイヤレスキーボード/マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFCポートは12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



レーザー光 注意

本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- ・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザー光 注意

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。

クラス1レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠ 注意



一般禁止

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。



一般指示

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間
使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩
時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛
みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間
見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の
原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にま
ばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるよ
うに使用する。



指のケガに
注意

光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、
本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスク
などをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れない
でください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる
場合はご注意ください。



一般禁止

指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を
取らないでください。

火災、故障の原因になります。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、
音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響
を与える原因になります。



一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしてお
いてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を
入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原
因になります。



一般禁止

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウ
スの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設

⚠ 警告



分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニ
ュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、お問い合わせ窓口、また
はご購入元にご連絡ください。



一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、
お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込ん
だ場合は、すぐに医師に相談してください。



一般指示

カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届か
ない場所で行ってください。

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにし
てください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因に
なります。



一般指示

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カ
バーをあげる場合は、本製品および接続されている機器の
電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、し
ばらくたってから行ってください。

カバーをあげた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し
込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。



一般禁止

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）
を使用しないでください。

故障や火災の原因になります。



一般禁止

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らな
いください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがありま
す。リチウム電池はご自身で交換せず、お問い合わせ窓
口にご相談ください。



一般禁止

指定以外の電池は使用しないでください。

また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池
を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する
原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜
いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取っ
てください。

ほこりがたまってきたままの状態で使用すると感電、火災の
原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に
電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご
注意ください。



プラグを抜
け

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入
れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行っ
てください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外
してください。
故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルを
よく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になり
ます。また、本製品および周辺機器が故障する原因になりま
す。

⚠ 注意



一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定さ
れた場所以外のネジは外さないでください。

けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手
を触れないでください。

けが、故障の原因になります。



高温注意

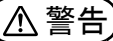
電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／
取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから
抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始め
てください。
やけどの原因になります。



一般指示

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

異常時



警告



プラグを抜く

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



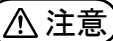
一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。



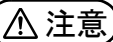
注意



指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

保管／廃棄



注意



プラグを抜く

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。



破製注意

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
本製品はリチウム電池を使用しております。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。
一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

・パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

・動作時：温度10～35℃／湿度20～80%RH

・非動作時：温度-10～60℃／湿度20～80%RH

・パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。

パソコンを移動したときは、直射日光があたらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

・パソコンをお使いになれない場所

次の場所ではお使いにならないでください。

・直射日光のあたる場所

・水など液体のかかる場所

・台所などの油を使用する場所

油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

・ほこりの多い環境

ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。

・静電気の発生しやすい場所

パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

・電気スタンドに近い場所

パソコン本体の近くで電気スタンドを点灯させると、タッチパネル機能が誤動作することがあります。

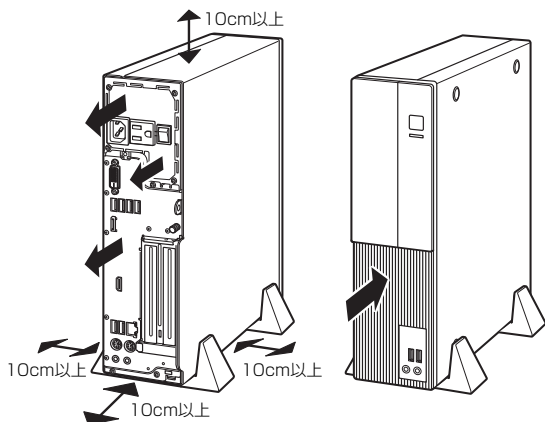
・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所
パソコン本体が腐食する可能性があります。

・通風孔

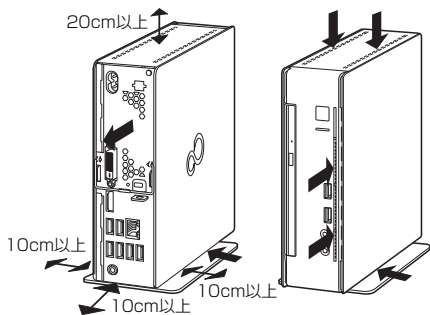
・通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にはこりなどを取り除いてください。詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.39をご覧ください）。

- ・通風孔をふさがないでください。また、通風孔をふさぐ原因となるもの（布・マット・じゅうたん・ビニール・アルミ箔など）の上に置かないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。堅い机の上などに置いてください。
- ・通風孔の近くに物を置いたり、通風孔の周辺には手を触れないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。
- ・グラフィックスカードが搭載されている場合は、グラフィックスカードにも通風孔が用意されている場合があります。
- ・パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm以上のすき間を空けてください。通風孔の空気の流れは、次の図の ➡ をご覧ください。

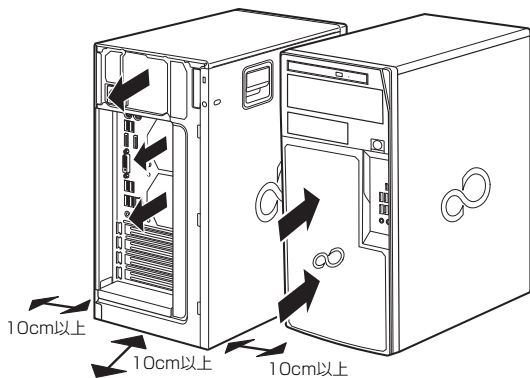
WD2/D2



WD1/D2



WD-G/D2

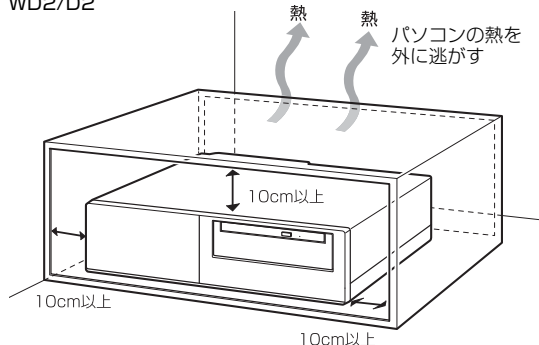


・パソコンをラックなどに設置する場合

前面および背面がふさがれていないラックを使用してください。

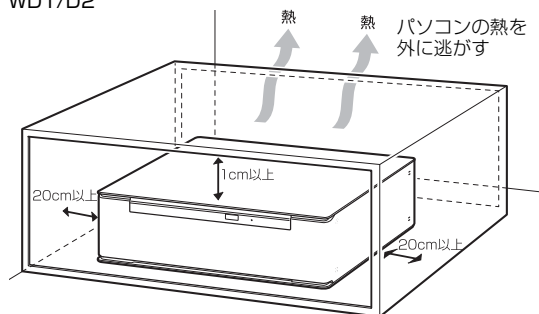
- ・ラック背面と壁の間は、10cm以上のすき間をあけてください。
- ・パソコン本体とラックの内側の棚板などとの間は、次のイラストのようにすき間を開けてください。

WD2/D2



(イラストは機種や状況により異なります)

WD1/D2



(イラストは機種や状況により異なります)

・パソコン使用中の環境

- ・操作するのに十分なスペースを取れる場所でお使いください。
- ・コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。
- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- ・パソコン本体の近くで携帯電話、PHS、トランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- ・パソコン本体は、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコン表面が高温になることがあります。
- ・パソコンは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。

- ・無線通信機能をお使いになる場所（無線LAN搭載機種のみ）パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

パソコンの取り扱いについての注意

■パソコン本体の取り扱い注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁石や磁気プレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えたりするおそれがあります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- ・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
- ・SSD は、頻繁に書き込み／書き換えを行うと寿命が短くなります。ドライブの最適化（デフラグ）は行わないようにしてください。また、重要なデータはバックアップをとることをお勧めします。

■パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがあります。故障ではありません。

■パソコン内部からの音に関して

パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがあります。これらは故障ではありません。

- ・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ・ハードディスクにアクセスする音
- ・光学ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音
- ・DVD などのディスクが回転する音
- ・内部の電子回路の動作音

■パソコンを移動する場合の注意

□移動する前の準備

- ・必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約 5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクが故障する原因となります。
- ・電源ケーブルや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください（→ P.11）。

□電源ケーブルの取り外し方

●WD2/D2 の場合

パソコン本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えた後、「セットアップする」－「電源に接続する」と逆の手順で電源ケーブルなどを取り外します。LAN ケーブルや USB ケーブルなども各コネクタから取り外します。

●WD1/D2 および WD-G/D2 の場合

「セットアップする」－「電源に接続する」と逆の手順で電源ケーブルなどを取り外します。LAN ケーブルや USB ケーブルなども各コネクタから取り外します。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

・直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

・誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。また、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

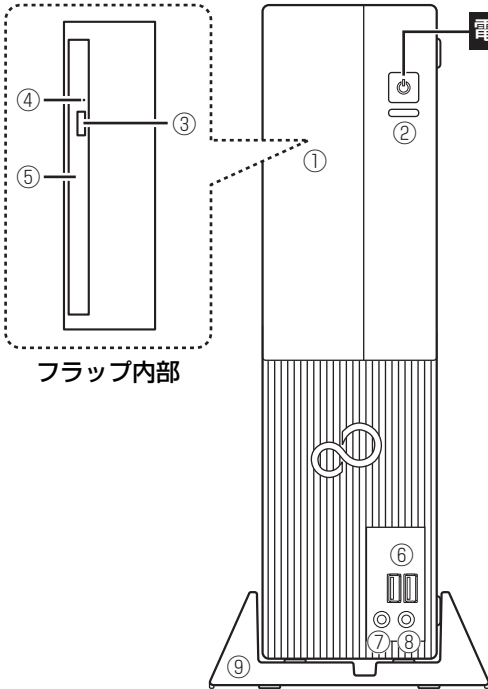
各部の名称について

このパソコンの主な各部の名称は次のとおりです（イラストは機種や状況により異なります）。



▶ ここに掲載されていない部分の名称や、各部の動きなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「各部の名称と動き」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。

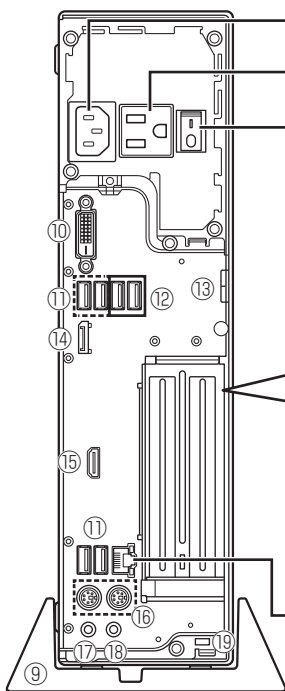
WD2/D2



電源ボタン／電源ランプ (→ P.25)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ① フラップ | ⑬ セキュリティ施錠金具 |
| ② ディスクアクセスランプ | ⑭ DisplayPortコネクタ [注] |
| ③ ディスク取り出しボタン | ⑮ HDMI出力端子 [注] |
| ④ 強制取り出し穴 | ⑯ PS/2コネクタ |
| ⑤ 光学ドライブ | ⑰ ラインアウト端子 |
| ⑥ USB3.1 (Gen2) Type-Aコネクタ | ⑱ ラインイン端子 |
| ⑦ ヘッドホン端子 | ⑲ 盗難防止用ロック取り付け穴 |
| ⑧ マイク端子 | ⑳ Mini DisplayPortコネクタ |
| ⑨ フット(設置台) | ㉑ DVI-Dコネクタ |
| ⑩ DVI-Dコネクタ [注] | ㉒ HDMI出力端子 |
| ⑪ USB3.0 Type-Aコネクタ | ㉓ DisplayPortコネクタ |
| ⑫ USB2.0 Type-Aコネクタ | ㉔ USB3.1 (Gen2) Type-Cコネクタ |

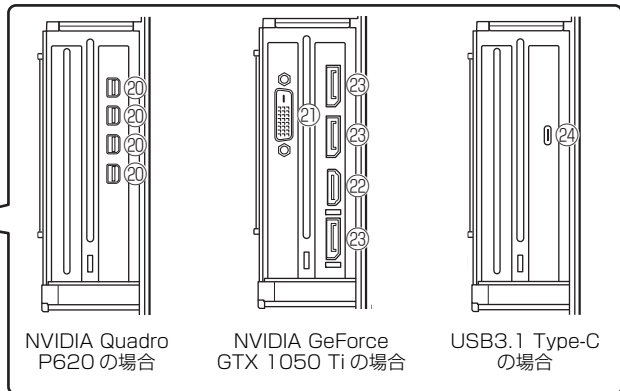
注：カスタムメイドでグラフィックスカードを選択した場合は、このコネクタは利用できません。グラフィックスカード側のコネクタを利用してください。



インレット (→ P.19)

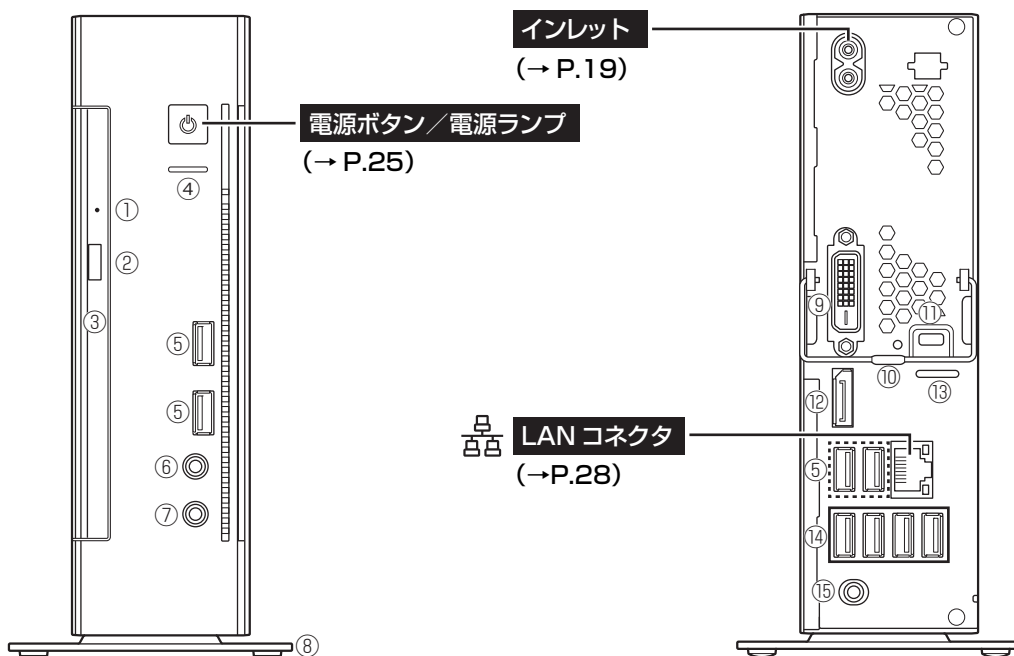
アウトレット (→ P.19)

メインスイッチ (→ P.25)



LANコネクタ (→ P.28)

WD1/D2



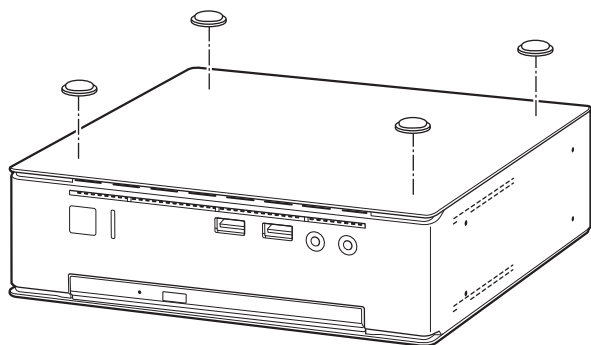
- ① 強制取り出し穴
- ② ディスク取り出しボタン
- ③ 光学ドライブ[注]
- ④ ディスクアクセスランプ
- ⑤ USB3.0 Type-Aコネクタ
- ⑥ ヘッドホン端子
- ⑦ マイク端子
- ⑧ フット(設置台)

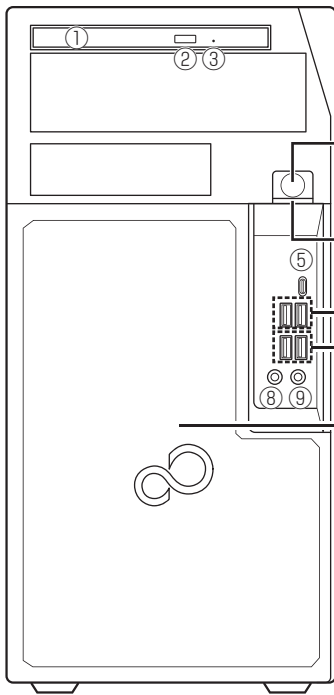
- ⑨ DVI-Dコネクタ
- ⑩ ロック金具
- ⑪ 盗難防止用ロック取り付け穴
- ⑫ DisplayPortコネクタ
- ⑬ セキュリティ施錠金具
- ⑭ USB2.0 Type-Aコネクタ
- ⑮ ラインアウト端子

注：次の機種に搭載されています。
 ・BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種
 ・スーパーマルチドライブ搭載機種

Point

- ▶ 横置きに設置する場合は、添付のゴム足を底面に取り付けてください。

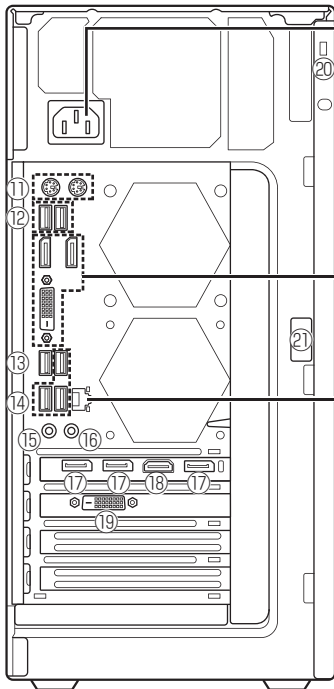




電源ボタン／電源ランプ

(→ P.25)

- ① 光学ドライブ
- ② ディスク取り出しボタン
- ③ 強制取り出し穴
- ④ ディスクアクセスランプ
- ⑤ USB3.1 (Gen2) Type-Cコネクタ
- ⑥ USB2.0 Type-Aコネクタ
- ⑦ USB3.1 (Gen2) Type-Aコネクタ
- ⑧ ヘッドホン端子
- ⑨ マイク端子
- ⑩ スピーカー



インレット

(→ P.22)

お使いになれません



LANコネクタ

(→P.28)

- ⑪ PS/2コネクタ
- ⑫ USB2.0 Type-Aコネクタ
- ⑬ USB3.1 (Gen2) Type-Aコネクタ
- ⑭ USB3.0 Type-Aコネクタ
- ⑮ ラインアウト端子
- ⑯ ラインイン端子
- ⑰ DisplayPortコネクタ
- ⑱ HDMI出力端子
- ⑲ DVI-Dコネクタ
- ⑳ 盗難防止用ロック取り付け穴
- ㉑ 無線LAN／Bluetoothアンテナ

セットアップする

セットアップの流れを確認する

パソコンの準備をする (→ P.16)

- **セットアップ前に周辺機器を接続しないでください**
プリンター、LANケーブル、USBメモリ、メモリーカードなどは、「Windowsのセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。

電源を入れる

Windowsのセットアップをする (→ P.25)

ローカルアカウントでセットアップします。

所要時間 20分程度です。

- **インターネットに接続しないでください**
インターネットに接続してWindowsのセットアップを行うと、非常に時間がかかり1時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。
- **この間は絶対に電源を切らないでください**
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

インターネットに接続して行います

インターネットに接続する (→ P.28)

Microsoftアカウントに切り替える (→ P.30)

新規取得、またはお持ちのMicrosoftアカウントに切り替えます。

所要時間 10分程度です。「Microsoftアカウント」については「Microsoftアカウントとは」(→ P.30)をご覧ください。

「アップデートナビ」の初期設定をする (→ P.34)

再起動 (Microsoftアカウントでサインイン)

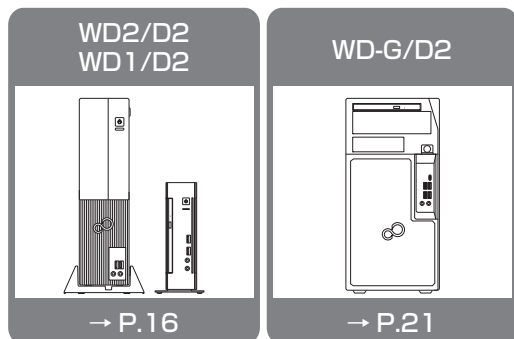
「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.34)

「はじめに行う設定」というアプリのガイドに従って「ユーザー登録」や「Officeのセットアップ」などを行うと、パソコンを快適にお使いいただけます。

さあ、セットアップを始めましょう！

パソコンの準備をする

お使いの機種に合わせてご覧ください。



重要

- ▶ キーボード、マウス、電源ケーブルなどのケーブルを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。



WD2/D2 および WD1/D2

■フット（設置台）を取り付ける

パソコンを縦置きにする場合、フット（設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。必ず取り付けてください。

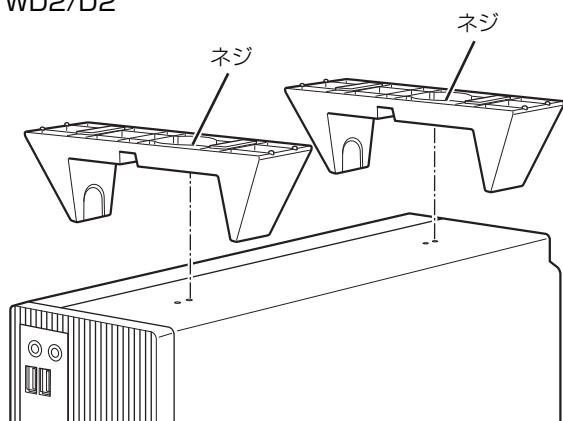
- ①パソコン本体を上下さかさまにします。

本体に傷が付かないように、下に布などを敷いてください。

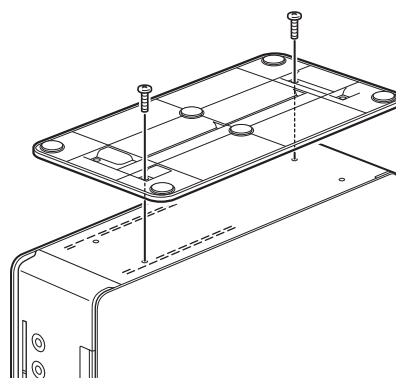
- ②パソコン本体底面にフットを取り付けます。

フットのネジと、パソコン本体底面のネジ穴を合わせて固定します。

WD2/D2



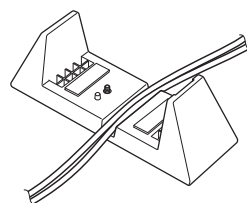
WD1/D2



（イラストは機種や状況により異なります）

Point

- ▶ WD2/D2 の場合、キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。



■ディスプレイを接続する

パソコン本体に、DVI-D コネクタ、DisplayPort コネクタ、HDMI 出力端子 (WD2/D2 のみ) が用意されています。お使いになるディスプレイのケーブルの種類に合わせ、奥までしっかりと差し込んでください。

ご購入時にグラフィックスカードを選択した場合は、本体側のコネクタはお使いになれません。グラフィックスカード側のコネクタに接続してください。

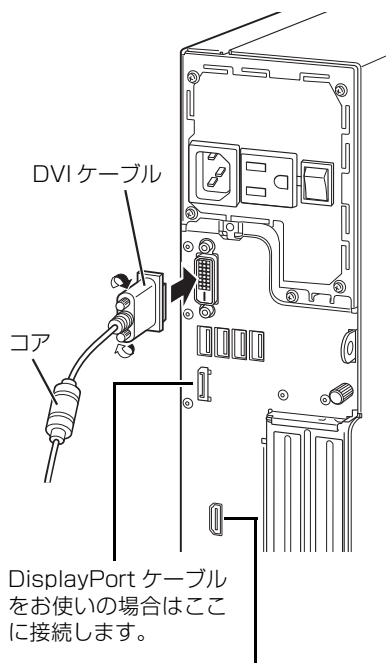
お使いのディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

Point

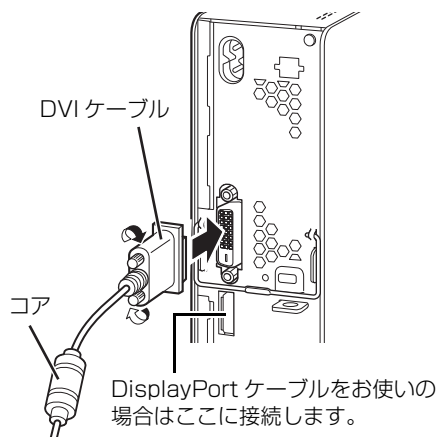
- ▶ このパソコンではディスプレイを2台以上接続して、同時表示や、マルチモニター機能を使用することができます。ただし、セットアップが終了するまでは、ディスプレイは1台のみパソコンに接続して操作してください。セットアップ終了後に2台目以降のディスプレイを接続してください。『取扱説明書<活用ガイド>』の「ディスプレイ」をご覧ください (『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.39をご覧ください)。
- ▶ ディスプレイに2本以上ケーブルがある場合、このパソコンには1本のみ接続してください。

WD2/D2 で CPU 内蔵グラフィックスを選択した場合

WD1/D2



HDMI ケーブルをお使いの場合はここに接続します。

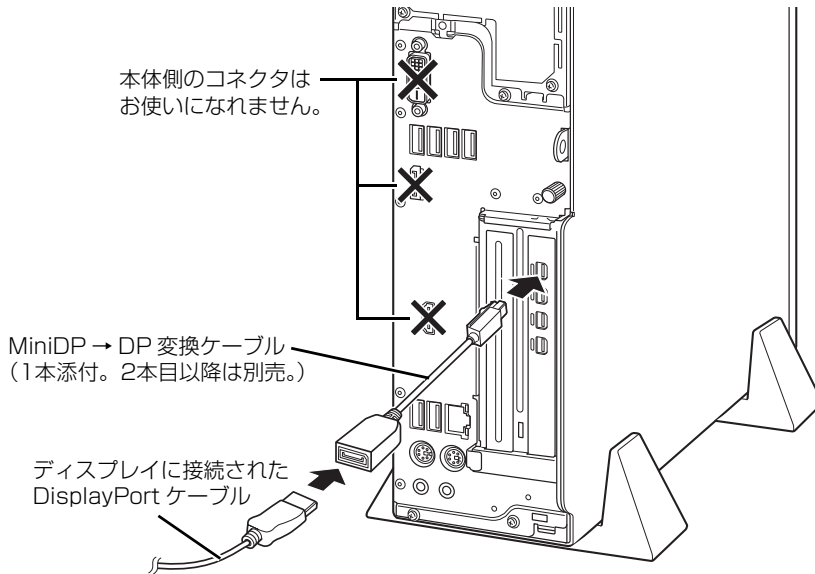


(イラストは機種や状況により異なります)

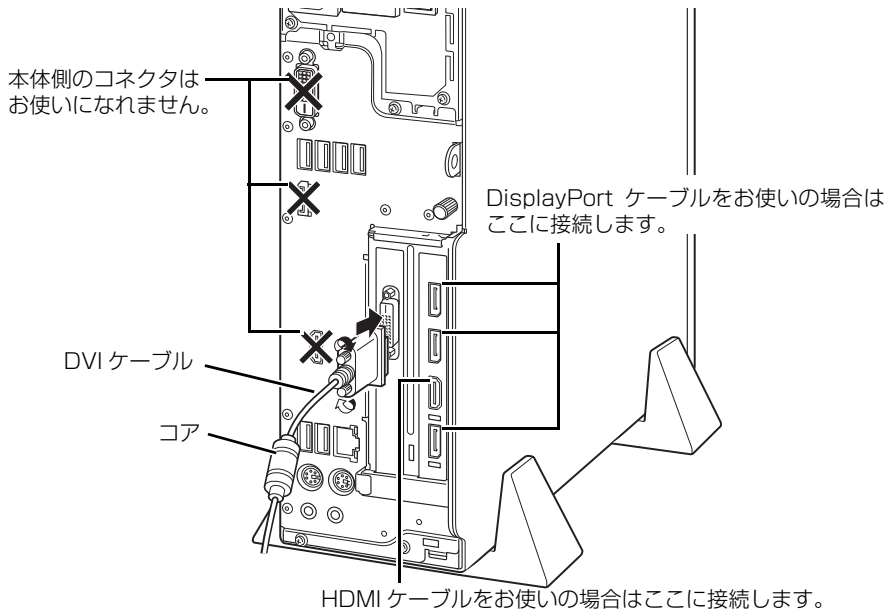
WD2/D2 でグラフィックスカードを選択した場合

・ NVIDIA Quadro P620

お使いになるディスプレイにより、別売の変換ケーブルが必要な場合があります。




・ NVIDIA GeForce GTX 1050 Ti



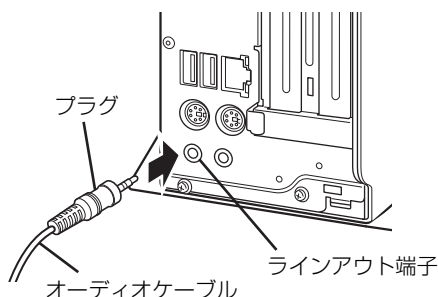
(イラストは機種や状況により異なります)

■オーディオケーブルを接続する

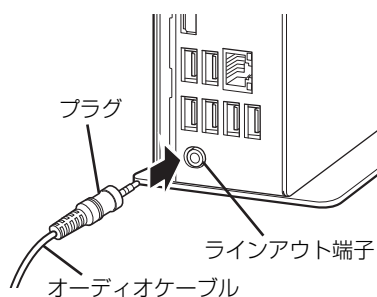
スピーカー内蔵ディスプレイ（別売）をお使いの場合、ディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

ラインアウト端子（) に、ディスプレイ（別売）などのオーディオケーブルを接続します。

WD2/D2



WD1/D2

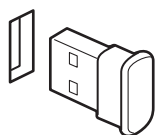


（イラストは機種や状況により異なります）

■ワイヤレスレシーバーを取り付ける

ご購入時にワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを選択した場合は、ワイヤレスレシーバー（電波の受信部）が添付されています。

パソコン本体の USB コネクタに取り付けます。



Point

- ▶ ご購入時に無線 LAN を選択した場合は、電波の干渉を防ぐため、本体背面の USB コネクタに接続してください。

■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。しっかり差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になる場合があります。

お使いの機種に合わせてご覧ください。

- WD2/D2 → P.19
- WD1/D2 → P.20

□WD2/D2 の場合

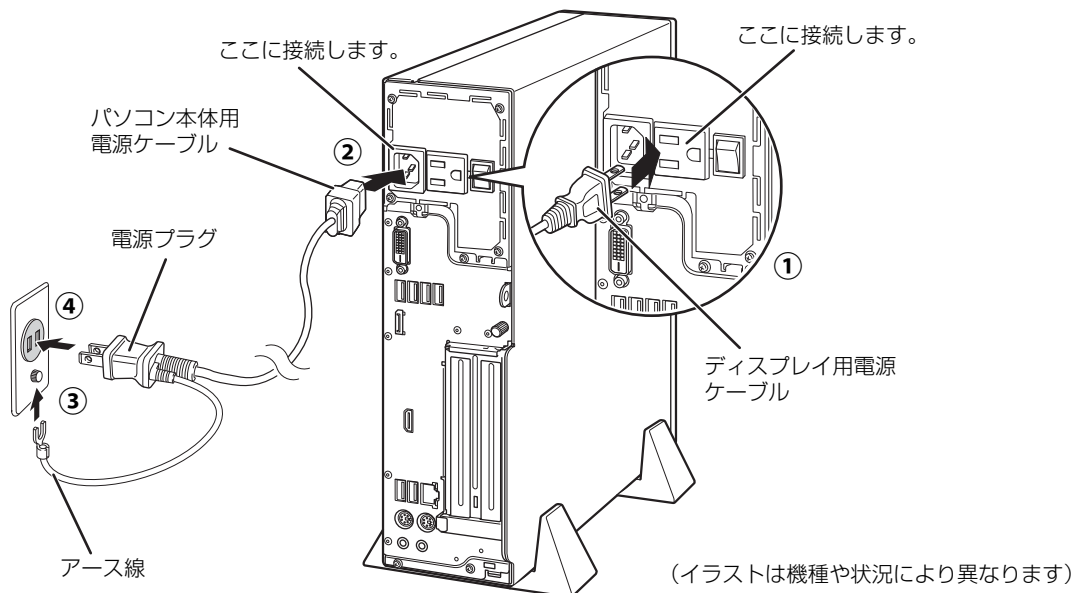
- ① ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続します。

Point

- ▶ ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続しているときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。
- ▶ 他社製のディスプレイを接続しているときは、ディスプレイ用の電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。

- ② パソコン本体用電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。

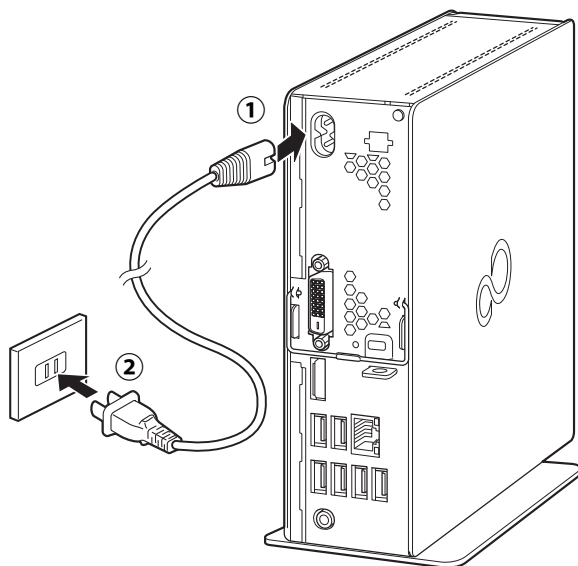
- ③ アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する」(→ P.23)に進んでください。

□WD1/D2 の場合

- ① 電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。



➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する」(→ P.23)に進んでください。



WD-G/D2

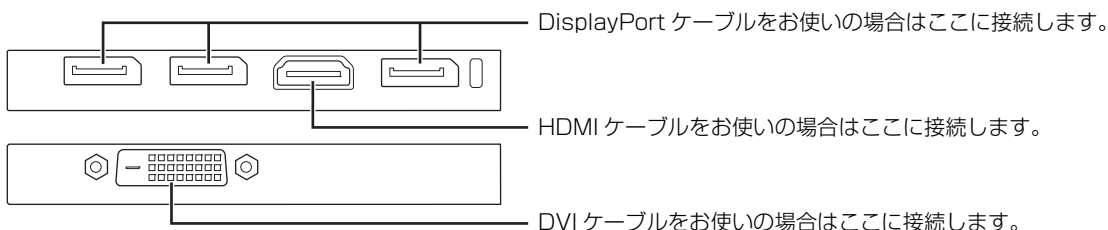
■ディスプレイを接続する

パソコン本体に搭載されたグラフィックスカードに、DisplayPort コネクタ、HDMI 出力端子、DVI-D コネクタが用意されています。

お使いになるディスプレイのケーブルの種類に合わせ、奥までしっかりと差し込んでください。お使いのディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

Point

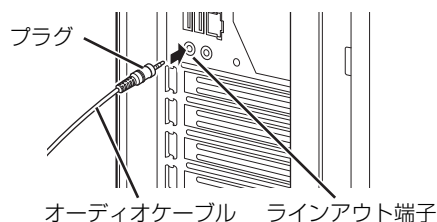
- ▶ パソコン本体側の DVI-D コネクタ、DisplayPort コネクタはお使いになれません。
- ▶ このパソコンではディスプレイを 2 台以上接続して、同時表示や、マルチモニター機能を使用することができます。ただし、セットアップが終了するまでは、ディスプレイは 1 台のみパソコンに接続して操作してください。セットアップ終了後に 2 台目以降のディスプレイを接続してください。📖『取扱説明書<活用ガイド>』の「ディスプレイ」をご覧ください（📖『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。
- ▶ ディスプレイに 2 本以上ケーブルがある場合、このパソコンには 1 本のみ接続してください。



■オーディオケーブルを接続する

スピーカー内蔵ディスプレイ（別売）をお使いの場合、ディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

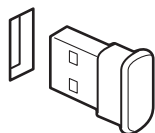
ラインアウト端子（🔊）に、ディスプレイ（別売）などのオーディオケーブルを接続します。



■ワイヤレスレシーバーを取り付ける

ご購入時にワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを選択した場合は、ワイヤレスレシーバー（電波の受信部）が添付されています。

パソコン本体の USB コネクタに取り付けます。



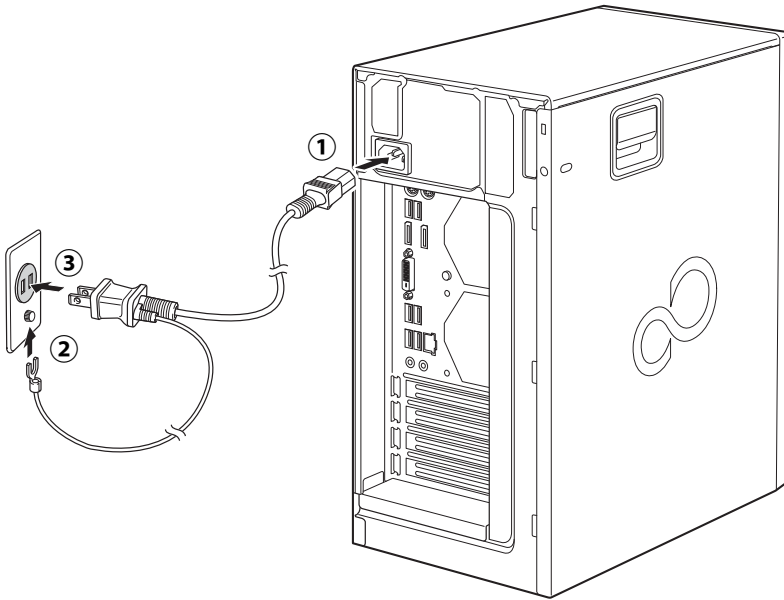
Point

- ▶ 電波の干渉を防ぐため、本体背面の USB コネクタに接続してください。

■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。しっかり差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になる場合があります。

- ① パソコン本体用電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。
- ② アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する」(→ P.23)に進んでください。

キーボード／マウスを準備する

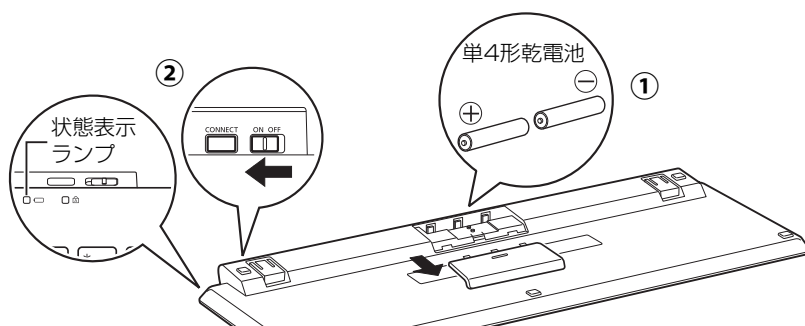
添付されているキーボード／マウスの種類に合わせてお読みください。

- ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス (→ P.23)
- USB キーボード／USB マウス (→ P.24)

■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス

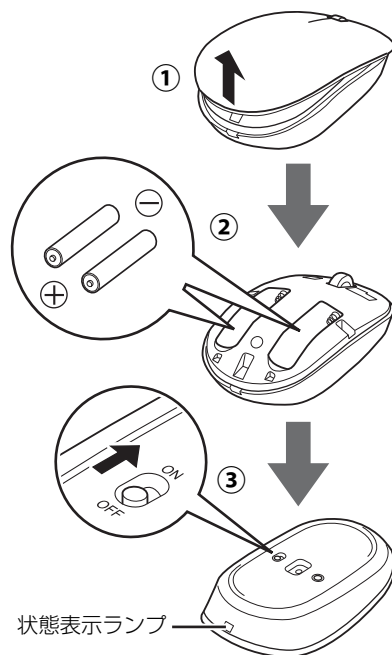
1 ワイヤレスキーボードの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを矢印の方向にスライドして開け、添付の乾電池を入れます。電池ボックスのふたを矢印と逆の方向にスライドして閉めます。電池ボックスのふたを無理に押し込もうとすると破損の恐れがありますのでご注意ください。
- ② 電源スイッチをON側にして、電源を入れます。
状態表示ランプが緑色に点灯し、数秒後に消灯します。消灯したままの場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



2 ワイヤレスマウスの電源を入れます。

- ① マウス上面部分を後方から持ち上げ、フタを外します。
- ② 添付の単4形乾電池を入れ、フタを前方からはめ込みます。
- ③ 電源スイッチをON側にして、電源を入れます。
状態表示ランプを確認します。
状態表示ランプが緑色に点灯し、数秒後に消灯します。消灯したままの場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



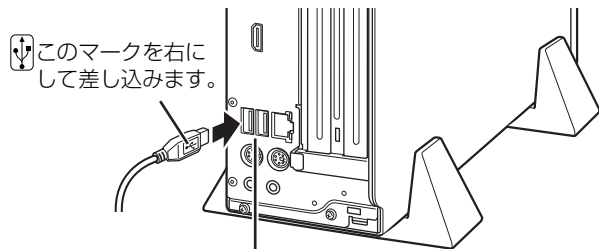
Point

- ▶ マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

➡ この後は、「Windows のセットアップをする」(→ P.25) に進んでください。

■USB キーボード／USB マウス

キーボードとマウスを、パソコン本体の USB コネクタに接続します。



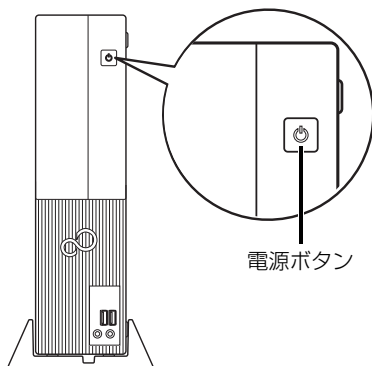
USB コネクタ
どの USB コネクタに接続してもかまいません。(イラストは WD2/D2 の例です)

➡ この後は、「Windows のセットアップをする」(→ P.25) に進んでください。

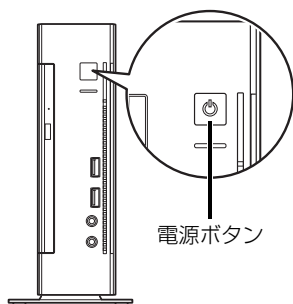
Windows のセットアップをする

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。

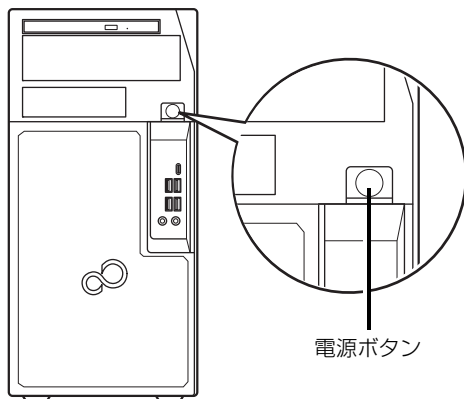
・ WD2/D2



・ WD1/D2

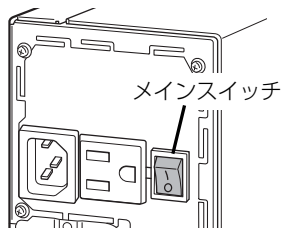


・ WD-G/D2



重要

▶ WD2/D2 の場合、電源ボタンを押す前に次の操作を行ってください。



・ 最初の一度だけ、背面のメインスイッチを「|」側にします。トラブルが起きた場合や長期間使わない場合を除き、「|」側のままでお使いください。

・ パソコンの電源を入れたあと、ディスプレイの電源を入れます。ディスプレイの電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続している場合は、これ以後はパソコンと連動してディスプレイの電源が入ります。

▶ セットアップ中に、「問題が発生しました やり直すことができます。」と表示されたら、「やり直す」をクリックしてください。次の手順に進むことができます。

▶ Windows のバージョンにより、セットアップ手順(画面)が変更される場合があります。

2 画面に表示された注意事項をよくご覧になり、**[Y]** を押します。

セットアップを中止する場合は、**[N]** を押すと電源が切れます。再度セットアップを開始するときは、手順 1 から操作してください。

重要

▶ Windows のセットアップが終わるまで絶対に電源を切らないでください。

3 そのまましばらくお待ちください。




音声での案内が始まります。

WD2/D2 および WD1/D2 では、音声出力できるディスプレイが接続されている場合のみ音声が流れます。

Point

- ▶ しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。マウス、キーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

- ▶ 音声での案内が始まった場合は、音量の調節をします。

画面右下の①  をクリックし、②スライダーを左右に動かして音量の調節をします。③  をクリックして  にするとミュート（音を消す）にできます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 4 「お住まいの地域はこちらでよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- 5 「キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- 6 「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」と表示されたら、「スキップ」をクリックします。
他の言語を入力できるようにしたい場合は「レイアウトの追加」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
- 7 「ネットワークに接続しましょう」と表示されたら、「インターネットに接続していません」をクリックします。

重要

- ▶ インターネットに接続せず Windows のセットアップをするために、「インターネットに接続していません」をクリックしてください。インターネットに接続して Windows のセットアップを行うと、非常に時間がかかり1時間以上セットアップが進んでいないように見える場合があります。

Point

- ▶ この画面が表示されなかった場合は、手順 9 へ進んでください。

- 8 「インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります」と表示されたら、「制限された設定で続行する」をクリックします。
- 9 ライセンス条項が表示されたら、よく読んでから「同意」をクリックします。
- 10 ローカルアカウントを作成します。



- ① 「ユーザー名」を入力します。
12文字以内の半角英数字 (a～z、A～Z、0～9) で好きな名前を入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

重要

- ▶ 次の文字や文字列はユーザー名に使用できませんので、入力しないでください。
 - ・ @、%、/、-などの記号や空白（スペース）
 - ・ CON、PRN、AUX、CLOCK\$、NUL、COM1～COM9、LPT1～LPT9の文字列
 - ・ ひらがな、カタカナ、漢字など

11 「確実に覚えやすいパスワードを作成します。」と表示されたら、「次へ」をクリックします。インターネットに接続後、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えるため、ここではパスワードは入力しません。

Point

- ▶ パスワードを入力した場合は、秘密の質問の設定を求められるなど、この後の手順が異なります。その場合は画面の指示に従って操作してください。

12 「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う」と表示されたら、「はい」または「いいえ」をクリックします。

Point

- ▶ 「はい」をクリックすると、他のパソコンやタブレットに同じ Microsoft アカウントでサインインしたときに、アプリなどの使用状況が同期されるので便利です。同期する必要がない場合、また他のパソコンやタブレットをお使いにならない場合は「いいえ」をクリックしてください。後で設定を変更することもできます。

13 「デジタルアシスタントを利用する」と表示されたら、「同意」をクリックします。

14 「デバイスのプライバシー設定の選択」と表示されたら、「同意」をクリックします。

15 説明をよく読んで、ご利用登録をします。



- ① 富士通パソコンのユーザー登録 (My Cloud アカウントの登録) として使うメールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスは、セキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」のご利用登録にも使用されます。
 ※ 製品やセキュリティに関する重要なお知らせなどを受け取るため、普段お使いのメールアドレスを入力してください。
 ※ メールアドレスを入力した場合は、富士通パソコンユーザー登録をするときに使用するため、「はじめに行う設定」で初期設定する」の手順6 (→P.35) の記入欄に書きとめておくことをお勧めします。
- ② 「次へ」をクリックします。

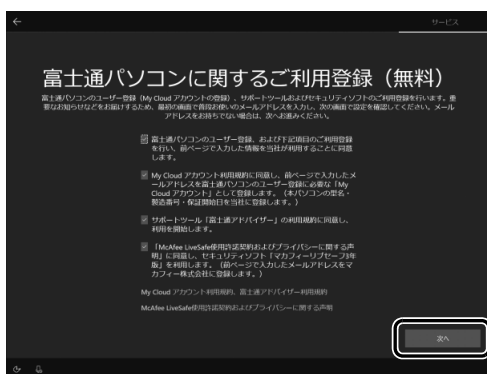
ここで入力するメールアドレスについて

- **My Cloud アカウントをお持ちでない場合**
My Cloud アカウントとして登録するメールアドレスを入力します。パスワードのご連絡など重要な通知を受け取るため、普段お使いのメールアドレスを入力してください。
- **My Cloud アカウントをお持ちの場合**
登録済みのメールアドレスを入力してください。このパソコンを簡単に追加登録できます。
- **メールアドレスをお持ちでない場合**
メールアドレスは入力せず、「次へ」をクリックしてください。メールアドレスを取得後、富士通パソコンのユーザー登録をしてください。

Point

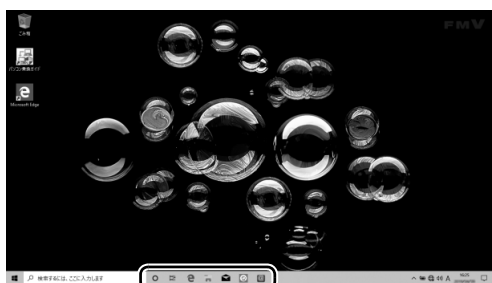
- ▶ 「名」「姓」は何も入力しません。
- ▶ 「リージョン」は選択しません。
- ▶ 「パソコンを初期状態に戻す(リカバリ)」(→ P.52) を行った後などの再セットアップのとき、このパソコンが製品登録済みの場合は、①にメールアドレスの入力は必要はありません。
- ▶ 富士通パソコンは、3年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」を搭載しています。メールアドレスを登録すると、このパソコンだけでなく、家族みんなのパソコン、スマートフォンやタブレットを、3年間追加料金不要で「マカフィー リブセーフ」で守ることができます。詳しくは、「家族のパソコンやスマホを守る」(→ P.40) をご覧ください。

16 「次へ」をクリックします。



17 デスクトップが表示されるまで待ちます。

デスクトップが表示されるまで画面が何回か変化します。



この部分が表示されるまで、操作せずお待ちください。時間がかかる場合があります。

これで Windows のセットアップは完了です。

インターネットに接続する

このパソコンをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。

マイクロソフト社のサービスを受けるために必要です。また富士通のインターネットを使用したサポートや各種サービスなどが活用できるようになります。

インターネット接続方法はご契約のプロバイダーにお問い合わせください

インターネットに接続するための設定方法や情報は、ご契約のプロバイダーから提供されます。プロバイダーの指示に従って、インターネット接続設定をしてください。

Point

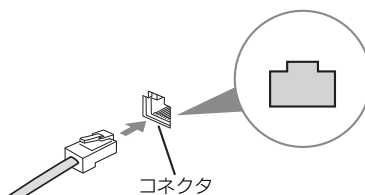
- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイル Wi-Fi ルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ データ通信機器に関しては、ご契約のサービス会社にお問い合わせください。

有線 LAN でインターネットに接続する

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルをパソコン側の LAN コネクタに接続し、もう一方をお使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。

Point

- ▶ コネクタ類の位置は「各部の名称について」(→ P.12) で確認してください。
- ▶ LAN ケーブルを接続するときは、コネクタの向きを確認してしっかり差し込んでください。



無線 LAN でインターネットに接続する

無線 LAN 搭載モデル

無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、Windows 10 の標準機能でインターネットに接続する方法を紹介します。

重要

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、パスワードを設定するなどセキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。
- ▶ 設定方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。設定方法についてわからないときは、無線 LAN アクセスポイントの製造会社に問い合わせてください。
- ▶ 5GHz 帯チャンネルに対応した無線 LAN 搭載モデルでは、パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Point

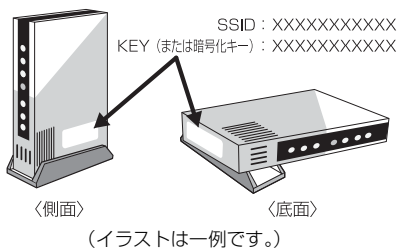
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントではなくルーターなどと呼ばれる機器でも同じように設定できる場合があります。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、ネットワーク名 (SSID) とパスワードを設定してください。


Point

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントやルーターのパスワード (KEY、暗号化キーなど) は、出荷時に設定されている場合があります。その場合は、機器本体の側面や底面、またはマニュアルに記載されていることがあります。



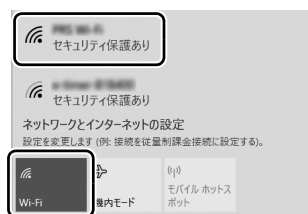
Step2 パソコンの設定をする

Windows 10 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。

- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 2 画面右下の通知領域の  をクリックします。



- 3 Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリックします。

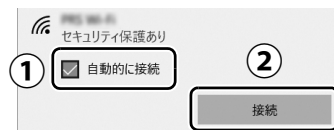


ネットワーク名 (SSID) が表示されず「オフ」と表示されているときは、「Wi-Fi」をクリックして「オン」にしてください。

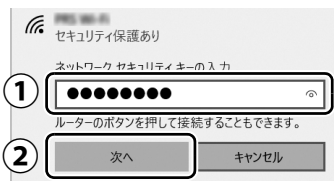
Point

- ▶ セキュリティのためネットワーク名 (SSID) が表示されないようにしている場合は、「非公開のネットワーク」をクリックし画面の指示に従って操作してください。「非公開のネットワーク」は画面下に隠れていることがあります。ネットワーク名の一覧を上スクロールしてください。

- 4 ①「自動的に接続する」の をクリックして にし、②「接続」をクリックします。



- 5 ① Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力し、②「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ 「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

- 6 正しく設定できたか確認します。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

Microsoft アカウントに切り替える

Microsoft アカウントとは

マイクロソフト社が提供するサービスを利用するためのアカウントです。「Office」（Office 搭載機種）、OneDrive、「ストア」などのサービスは、Microsoft アカウントがないと利用できません。

Microsoft アカウントで Windows にサインインすれば、各サービスに一括でサインインできるようになり便利です。できるだけ早く Microsoft アカウントに切り替えることをお勧めします。

Microsoft アカウント作成で困ったときは

Microsoft アカウントに切り替える操作については、マイクロソフト社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト サポート窓口

※ お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。



電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金 / 9:00～18:00、土・日 / 10:00～18:00（祝祭日、指定休業日を除く）

マイクロソフト コミュニティ

URL：<http://answers.microsoft.com/ja-jp/>

Microsoft アカウント切り替え方法

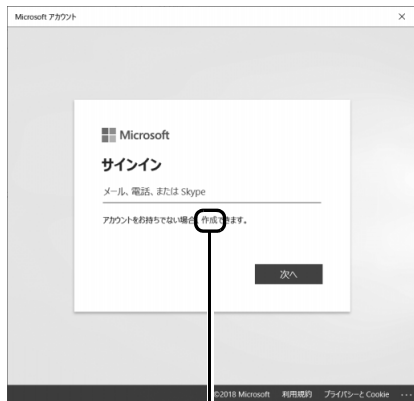
- 1 画面左下の  （設定）▶「アカウント」の順にクリックします。
- 2 ①「ユーザーの情報」をクリックし、
②「Microsoft アカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



3 「サインイン」が表示されたら、次のように操作します。

新規にMicrosoftアカウントを作成する場合と、すでにMicrosoftアカウントをお持ちの場合で、手順が異なります。

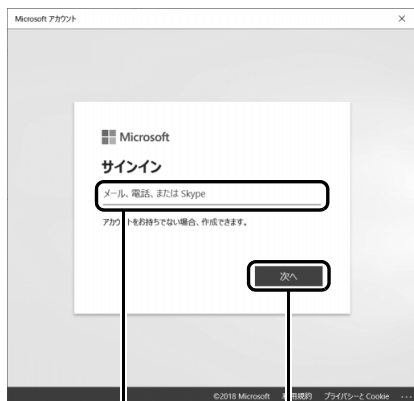
■ 新規にMicrosoftアカウントを作成する場合



① 「作成」をクリック

➡ 手順 4 に進んでください。

■ すでにお持ちのMicrosoft アカウントに切り替えたい場合



① Microsoft アカウントを入力
② 「次へ」をクリック

「パスワードの入力」が表示されたら、次のように操作します。



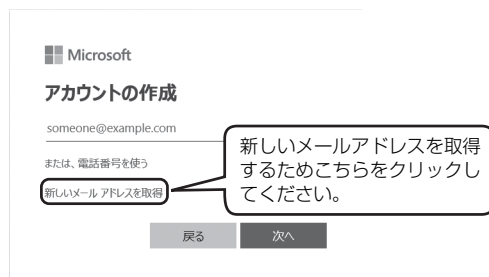
③ パスワードを入力
④ 「サインイン」をクリック

➡ 手順 10 に進んでください。

Point

- ▶ この後、「セキュリティ情報の追加」という画面が表示された場合は、画面の指示に従って電話番号を登録してください。登録した電話番号に送信されたコードを入力するときなどに備え、すぐに対応できる番号を登録してください。

4 「アカウントの作成」が表示されたら「新しいメールアドレスを取得」をクリックします。



5 Microsoft アカウントとして使いたい文字列を入力し、「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ Microsoft アカウント (メールアドレス) として使いたい文字列を入力します。
半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) およびピリオド (.), ハイフン (-), 下線 (_) のみ使用できます。
- ▶ メールアドレス入力後、「既に使われています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力するか、「次の中から選んでください」をクリックして表示される候補からメールアドレスを選択します。

6 「パスワードの作成」が表示されたら、他人に知られないようなパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



【パスワードの作成例】

半角英字

半角数字
半角記号

ab1-c23d4

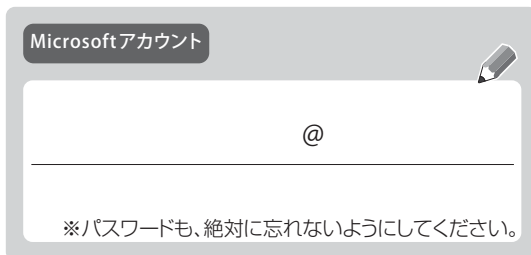
8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) および半角記号を組み合わせで作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

7 次の欄に手順5で作った Microsoft アカウントを記入します。

Windows のサインインのときや、「Office」をインストールするときにも必要です。



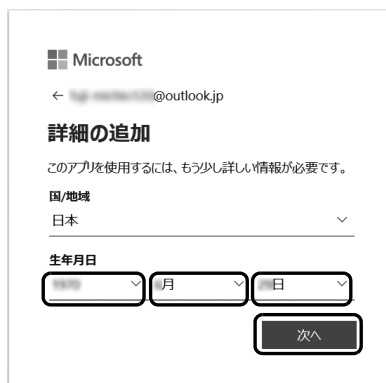
※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

8 「アカウントの作成」が表示されたら、「姓」と「名」を入力し、「次へ」をクリックします。



9 生年月日を設定し、「次へ」をクリックします。



10 「現在の Windows パスワード」は空欄のまま、「次へ」をクリックします。



「Windows をセットアップする」の手順 11 (→ P.27) でローカルアカウントを取得したときにパスワードを設定した場合はパスワードを入力します。

11 「PIN を作成します」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

PIN は、このパソコンでのみ Microsoft アカウントのパスワードの代わりに使えます。

※ 代わりに使えない場合もあります。

12 ① 4桁以上の数字を上段に入力し、下段にも同じ数字を確認入力し、② 「OK」をクリックします。



設定した PIN は絶対に忘れないようにしてください。

※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

Point

- ▶ ③ 「英字と記号を含める」が表示されている場合は、 をクリックして にすると、英字なども入力できるようになります。詳しくは「PIN の要件」をクリックして確認してください。
- ▶ PINはアカウントの切り替え後に変更することもできます。 ▶ (設定) ▶ 「アカウント」▶ 「サインインオプション」の順にクリックし、右側に表示された「PIN」から設定してください。

13 「アカウント」の「ユーザーの情報」画面に戻ったら、作成した Microsoft アカウントが表示されていることを確認します。



本人確認が必要な場合に表示されます。



Point

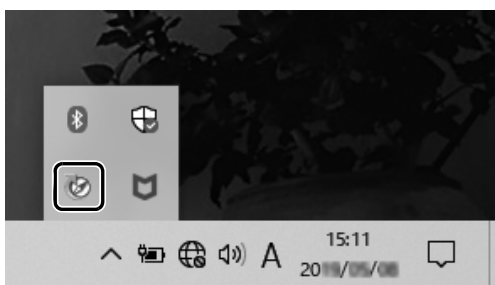
- ▶ Microsoft アカウントが表示されなかったら、いったん画面右上の X をクリックしてウィンドウを閉じてください。その後、画面左下の ▶ (設定) ▶ 「アカウント」の順にクリックして再度表示してください。
- ▶ 他のパソコンやタブレットで取得済みの Microsoft アカウントに切り替えた後など、本人確認を行う必要がある場合があります。「確認する」をクリックし、その後は画面の指示に従って操作してください。

「アップデートナビ」の初期設定をする

「アップデートナビ」を有効にすると、インターネットを経由して、ドライバーやアプリの更新プログラムの有無を定期的にチェックして通知します。更新するかどうか内容を確認し、簡単な操作でパソコンを最新の状態にできます。

1 「アップデートナビ」が有効になっているかを確認します。

画面右下の通知領域の  をクリックし、 (アップデートナビ) が表示されていれば有効です。



(画面は機種や状況により異なります)

2 「アップデートナビ」が有効になっていない場合は、 ▶「アップデートナビ」の順にクリックします。



「アップデートナビ」が見つからないときは、「スタート」メニュー左側のアプリ一覧をスクロールしてください。

3 ▶ (電源) ▶「シャットダウン」の順にクリックします。

ここで、いったんシャットダウンしてください。

「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」から、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

- 1 電源ボタン () をポチッと押します。
- 2 ロック画面が表示されたら、 を押します。





ロック画面

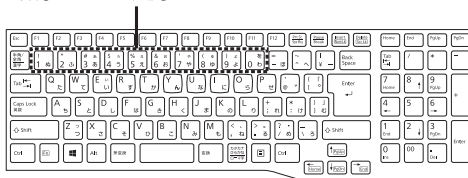
3 PIN を入力します。

「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 12 (→ P.33) で設定した PIN です。

Point

- ▶ PINを使わず、「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 7 (→ P.32) で記入したパスワードを使うこともできます。「サインインオプション」をクリックし、 をクリックし、パスワードを入力して  をクリックします。
- ▶ パスワードを入力するときに、テンキーで数字が入力できなかった場合は、キーボード上部の数字キーで入力してください。

数字はここで入力してください



(イラストは機種により異なります)


4 少し待ちます。

デスクトップに「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

5 「ようこそ!」画面で、「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ 「はじめに行う設定」の **X** をクリックし、「終了」をクリックした場合は、未確認のページがあるため、パソコンを再起動したときに、「はじめに行う設定」が自動起動されます。
- ▶ すべてのページを確認すると、次回から自動起動されないように設定できます。手順 9 まで操作したら、「次回から「はじめに行う設定」を自動起動しない」をクリックし、 にして「終了」をクリックしてください。
- ▶ 「はじめに行う設定」は次のように起動することもできます。

 ▶ 「FUJITSU - はじめに行う設定」▶ 「はじめに行う設定」の順にクリックします。「はじめに行う設定」は下の方に隠れているのでスクロールして表示してください。

6 「パソコンのユーザー登録」画面が表示されたら、次のように操作し、富士通パソコンユーザー登録を行います。

ユーザー登録済の方は製品情報の追加登録を行います。

ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料）。

ユーザー登録をすると、保証開始日^注 から 1 年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

注：パソコン本体に初めて電源を入れた日



1. 「ユーザー登録」をクリックします。
2. 「Microsoft Edge」が起動したら、画面の指示に従って富士通パソコンユーザー登録または製品情報の追加登録を行います。
3. 「はじめに行う設定」ウィンドウに「パソコンのユーザー登録 (Web) は行いましたか?」と表示されたら「はい」をクリックします。



Point

- ▶ メールアドレスを入力する画面が表示された場合は、Windows のセットアップ中の「富士通パソコンに関するご利用登録」(→ P.27) でご登録いただいたメールアドレスを入力してください。

発行されたユーザー登録番号とMy Cloud IDとして設定したメールアドレスを、記入しましょう。

- ユーザー登録番号はお問い合わせや修理依頼のときに必要です。

- ※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。
- ※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

7 「Officeをセットアップ」画面が表示された場合は、「セットアップの手順を開く」をクリックします。

「Office」のセットアップ方法を説明するページが表示されます。よく読んで必要に応じてセットアップをしてください。

Point

- ▶ Office のセットアップで困ったときは「日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフトサポート窓口」にお問い合わせください（→ P.43）。

8 「ATOKをインストール」画面が表示されたら、「ATOKのインストールを実行」をクリックします。

9 「はじめに行う設定」を終了します。



- ① 「次回から「はじめに行う設定」を自動起動しない」が になっていることを確認します。

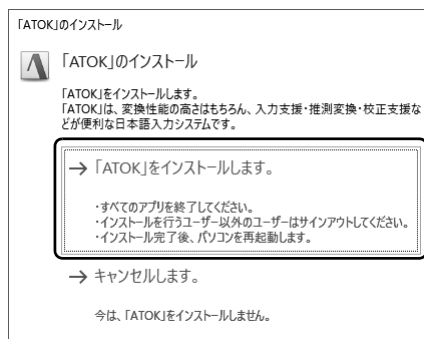
の場合はクリックして にすると、パソコンを再起動したときに、「はじめに行う設定」が表示されなくなります。

- ② 「アプリを終了」をクリックします。

10 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

11 「「ATOK」をインストールします。」をクリックします。

「ATOK」のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



12 「「ATOK」のインストールを完了するには、パソコンを再起動する必要があります。」と表示されたら、「はい」をクリックします。

再起動後に「ATOK」が使えるようになります。

これでセットアップは完了です。

使い始める

セットアップが終わったら、いよいよパソコンを使い始めましょう。

ここでは、パソコンを使い始めるときに知っておいていただきたい代表的なことを紹介します。

回復ドライブ（リカバリ用）を作成する

回復ドライブ（リカバリ用）を作成しておくことで、Windows が起動しないなど、パソコンに問題が発生したときに、修復できる場合があります。できるだけ早く作成することをお勧めします。

※FMVサポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じてQ&Aナンバー「7410-8229」を検索してご覧ください（→P.42）。

32GB以上の容量を持つUSBメモリを用意してください

- 回復ドライブ（リカバリ用）は1つのUSBメモリで作成してください。容量が32GBに満たないUSBメモリを複数用意しても作成できません。Blu-ray DiscやDVDには作成できません。
- 回復ドライブ（リカバリ用）を作成するとUSBメモリに作成前に記録していたデータはすべて削除されます。
- 必要なデータはバックアップをとってください。
- 回復ドライブ（リカバリ用）を作成後に、データを追加することはできません。
- 回復ドライブ（リカバリ用）にしたUSBメモリは、他の用途には使えません。
- すべてのUSB対応機器の動作を保証するものではありません。
- 一部のUSBメモリの中には、Windows 10の回復ドライブ（リカバリ用）の作成に対応していないものがあります。

■暗号化機能（パスワード）付きのUSBメモリの使用について



- 暗号化機能（パスワード）が搭載されている場合、回復ドライブ（リカバリ用）を作成したときに、USBメモリ内の暗号化ソフトが削除される可能性があります。暗号化機能を再度使用したい場合は、事前に暗号化ソフトを提供元のホームページなどから入手可能かどうかをご確認ください。

- 一部の高性能なUSBメモリでは、暗号化機能が削除されないものがあります。起動時にUSBメモリの内容を読み込めるかどうかは、USBメモリの提供元にご確認ください。

回復ドライブ（リカバリ用）を作成するうえでの注意

- 回復ドライブ（リカバリ用）の作成に使用するUSBメモリ以外の、USBメモリや外付けハードディスクは、必ず取り外してください。接続したまま操作すると、大切なデータが消去されてしまう可能性があります。
- 管理者アカウントでWindowsにサインインしていることを確認してください。セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
- 作成した回復ドライブ（リカバリ用）は紛失しないよう大切に保管してください。

回復ドライブ（リカバリ用）の作成手順



1.  ▶「Windows システムツール」▶「コントロールパネル」の順にクリックします。見つからないときは、「スタート」メニュー左側のアプリ一覧をスクロールしてください。
2. 「システムとセキュリティ」▶画面右側の「セキュリティとメンテナンス」▶画面右側の  ▶「回復」▶画面右側の「回復ドライブの作成」の順にクリックします。「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「回復ドライブの作成」という画面が表示されたら、「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。
4. 「USBフラッシュドライブの接続」という画面が表示されたら、パソコンのUSBコネクタに32GB以上のUSBメモリを接続します。
5. 「USBフラッシュドライブの選択」という画面が表示されたら、「使用可能なドライブ」欄にUSBメモリを接続したドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

- 「作成」をクリックします。
回復ドライブ（リカバリ用）の作成が完了するまで、しばらく待ちます。
- 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

「いつもアシスト ふくまる」を利用する

「いつもアシスト ふくまる」を使うと、キャラクターとの会話から、生活に便利な機能を楽しく利用できます。「いつもアシスト ふくまる」をお使いになるにはマイクとスピーカーを接続する必要があります。

ふくまるはあなたの新しい家族になって、あいさつしたり、天気を教えてくれたりして、あなたの生活をアシストしてくれます。

- ①   ② 「いつもアシスト ふくまる」のタイルの順にクリックします。



（タイルの位置や画面は、機種や状況により異なります）

- 使用許諾契約書が表示された場合は、よく読んでから「利用許諾に同意する」をクリックして にし、「つぎへ」をクリックします。
ふくまるについての説明が表示されたら、読み進めてください。

- この後はふくまるがご案内します！



（画面は機種や状況により異なります）

デバイス暗号化の回復キーを保管する

この PC を初期状態に戻す（リカバリ）ときや修理から帰ってきたときなどに回復キーが必要になる場合があります。トラブルに備え、できるだけ早く、回復キーを大切に保管してください。なお、この操作は他のパソコンやタブレットでも行うことができます。

- 1 次の URL にアクセスし、Microsoft アカウントでサインインします。


<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=237614>

この後は、画面の指示に従って操作してください。

- 2 「BitLocker 回復キー」が画面に表示されたら、印刷したりメモをとったりして大切に保管します。
機種や状況によっては回復キーが設定されないことがあります。その場合、回復キーは必要ありません。

「富士通アドバイザー」を活用する

パソコンを安心・快適にお使いいただくためのさまざまな情報を入手できます。

- 1  「富士通アドバイザー」の順にクリックします。
「富士通アドバイザー」が見つからないときは、「スタート」メニュー左側のアプリ一覧をスクロールしてください。



型名、製造番号、保証開始日、Windows 10 のエディションとバージョン

Point

- ▶ 利用規約が表示された場合、「同意する」をクリックしてください。
「同意する」が隠れている場合は、ウィンドウを広げてから「同意する」をクリックしてください。

サポート&サービス情報

「サポート&サービス情報」をクリックすると、受信したお知らせが表示されます。


●使いはじめの時期のお役立ち情報

Windows 10の基本的な使い方、古いパソコンやタブレットからのデータの移行、写真の取り込み方法などの、使いはじめの時期に役立つ情報です。

●緊急のお知らせ


Windows やアプリのセキュリティ危機、障害などが発生したときに、対処方法をお知らせします。

Point

- ▶ 新しくお知らせを受信すると、画面右端からメッセージが表示されます。「続きを読む」をクリックすると、「富士通アドバイザー」が起動して、詳細を確認できます。「閉じる」をクリックすると、メッセージは消えますがバッジは残ります。もう一度クリックするとメッセージを再表示することができます。・ バッジなしの場合やメッセージが消えてしまったときは、 ▶「富士通アドバイザー」の順にクリックして「富士通アドバイザー」を起動してください。




『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

 『取扱説明書<活用ガイド>』には、このパソコンに搭載されている機能やアプリを使いこなすための情報が掲載されています。必要に応じてお読みください。

1 画面左側の「マニュアル」をクリックします。

 『取扱説明書<活用ガイド>』が表示されます。

Point


- ▶ セットアップ直後はネットワークの状況やタイミングによってダウンロードに時間がかかることがあります。お急ぎの場合は画面左側の「機種別サポート情報・ダウンロード」をクリックし、表示されたページから  『取扱説明書<活用ガイド>』をダウンロードしてください。

トラブル解決

「トラブル解決」をクリックすると、パソコンでよくあるトラブル（起動・終了時、Windows、アプリ関連など）についてのQ&Aをご覧いただけます。

機種別サポート情報・ダウンロード

「機種別サポート情報・ダウンロード」をクリックすると、お使いの機種の最新のドライバーやマニュアルを公開しているページを表示できます。

 『取扱説明書<活用ガイド>』以外のマニュアルがある場合は、このページからダウンロードできます。

「富士通アドバイザー」(スマートフォン版)のご紹介

「富士通アドバイザー」(スマートフォン版)をご利用いただくと、万が一、パソコンが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりした場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧いただけます。

※Android 4.0以上、iOS7.0以上を搭載したスマートフォンが必要です。

※「富士通アドバイザー」(スマートフォン版)の利用設定が必要です。

■ダウンロード手順

1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。
<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>
2. Google Play のバナーまたは App Store のバナーをクリックして、アプリをダウンロードします。



スマートフォンから



『ソフ得』ソフト使い放題

『ソフ得』ソフト使い放題は、100種類以上、総額44万円相当のアプリが、月額550円(税込)で使い放題になる大変便利なサービスです。お申し込みいただくとすぐに、使いたいアプリを使いたいときに、いくつでもダウンロードして使用できます。

なお、価格は消費税10%で表示しております。

こんなアプリが使えます

- パソコン高速化ソフト「Wise Care 365 PRO」
- 実用ソフト「ほんとのタイピング」
- パソコンゲーム「IT 麻雀 2」
- 写真編集ソフト「かんたん写真編集 5」など…
(2019年9月時点取り扱いアプリ)

使用できるすべてのアプリや使い方の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://azby.fmworld.net/bm/st3/>


Point

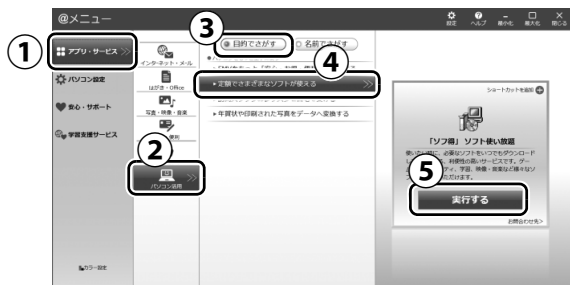
- ▶ ご利用にあたって必要となる環境などは、次のとおりです。
 - ・ インターネットへの接続
 - ・ My Cloud アカウント
『ソフ得』のお申し込み手続きのときに取得することもできます。
 - ・ クレジットカード
ご利用料金のお支払いはクレジットカードのみとなります。

使い放題ツール


『ソフ得』ソフト使い放題をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要になります。

「使い放題ツール」では、サービスへのお申し込み、アプリのインストール、インストールしたアプリの管理を行います。

1.  ▶ 「@メニュー」▶ 「@メニュー」の順にクリックします。
2. ① 「アプリ・サービス」▶ ② 「パソコン活用」▶ ③ 「目的でさがす」▶ ④ 「定額でさまざまなソフトが使える」▶ 『ソフ得』ソフト使い放題の⑤ 「実行する」の順にクリックします。



(画面は機種や状況により異なります)

3. 「ソフト使い放題 セットアップ セットアップ ウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックし、その後は画面の指示に従って「ソフト使い放題 セットアップ」をインストールします。
4. デスクトップの  (ソフト使い放題セットアップ) をダブルクリックし、その後は画面の指示に従って「使い放題ツール」をインストールします。

※ 「使い放題ツール」のインストールは無料です。

家族のパソコンやスマホを守る

富士通のパソコンは、3年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」が入っています。すべての機能を利用するためには、メールアドレスの登録が必要です(→P.41)。

家族みんなのパソコン、スマートフォンやタブレットなどのデバイスを「マカフィー リブセーフ」で守ることができます。何台でも追加料金は不要です。


※ お客様が所有し、個人的に使用するデバイスまたは同居するご家族のデバイスを、契約期間中、保護します。

※ 提供される機能はOSによって異なります。

「マカフィー リブセーフ」については、FMV サポートページからQ&A ナンバー「5210-7835」を検索してご覧ください(→P.42)。また、「マカフィー リブセーフ」の使い方については「ウイルス対策アプリのお問い合わせ先」(→P.43)をご覧ください。マカフィー株式会社にお問い合わせください。


メールアドレスを登録する

家族みんなのデバイスで、「マカフィー リブセーフ」をお使いになる場合は、事前にメールアドレスの登録が必要です。Windows のセットアップ中の「富士通パソコンに関するご利用登録」(→P.27) でメールアドレスを登録していない場合は、次の手順でメールアドレスを登録してください。

- 1  ▶「マカフィー」▶「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
セットアップ画面が表示された場合は、画面の指示に従ってセットアップしてください。
- 2 「アカウント情報」タブをクリックし、「マイアカウントに移動」をクリックします。
- 3 登録したいメールアドレスを入力して、「続ける」をクリックします。
- 4 「完了」をクリックします。

メールアドレスを登録すると、マカフィーからメールが届きます。メールをお読みになり、登録を完了させてください。

家族みんなのデバイスに、「マカフィー リブセーフ」をインストールする

- 1  ▶「マカフィー」▶「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
- 2 「ホーム」タブをクリックし、「他のデバイスを保護する」をクリックします。
- 3 保護したいデバイスをクリックします。
- 4 保護したいデバイスで受信できるメールアドレスを入力し、「メールを送信」をクリックします。
- 5 保護したいデバイスで受信したメールを開き、該当のOSの「インストール」をクリックします。
この後は画面の指示に従って「マカフィー リブセーフ」をインストールしてください。

他のウイルス対策アプリを利用する場合

「マカフィー リブセーフ」をアンインストールする必要があります。アンインストール方法は FMV サポートページから Q&A ナンバー「9410-5202」を検索してご覧ください (→P.42)。


バックアップする

万が一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。データの予備を保存しておくことを「バックアップ」と言います。

C ドライブバックアップガイド

「FMV-C ドライブバックアップガイド」では、システムイメージバックアップという C ドライブをバックアップ/復元できる Windows 10 の機能などについて説明しています。

次の手順で「FMV-C ドライブバックアップガイド」をご覧ください。

- 1  ▶「FMV-C ドライブバックアップガイド」の順にクリックします。
「FMV-C ドライブバックアップガイド」が見つからないときは、「スタート」メニュー左側のアプリ一覧をスクロールしてください。

システムイメージバックアップやその他のバックアップ方法を組み合わせて、忘れずにバックアップをとりましょう。

困ったときは


使い方がわからない、電源が入らない、動作がおかしいときなどの解決手段をご案内します。

使い方がわからない

製品の使い方、Windows の基本的な使い方、インターネットの閲覧やメールなどは、次の方法で調べましょう。

本製品の取り扱い方法や使い方

 『取扱説明書<活用ガイド>』で説明しています。

- 1  ▶ 「富士通アドバイザー」の順にクリックします。
- 2 画面左側の「マニュアル」をクリックします。

Windows の使い方、インターネットの閲覧やメールなど

FMV サポートページ

<http://azby.fmworld.net/support/>

さまざまな情報をご用意しています。



スマートフォンから

Windows 10 の情報、基本操作などを知りたいなら

Windows 10 スタートガイド

<http://azby.fmworld.net/win10/>

インターネットやメールの操作、文字入力の方法などを知りたいなら

ビギナーガイド (パソコン活用情報)

http://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/





- ▶ FMV サポートページは「富士通アドバイザー」からもご覧になれます (→ P.38)。

動作がおかしい

Windows が起動するのに、キーボードやマウスが使えなくなったり、各種メッセージが表示されたりするなど、急に動作がおかしくなった場合は、次の順序で確認しましょう。

1 電源を入れ直す

電源を入れ直すことで解決する場合があります。

1.  ▶  (電源) ▶ 「シャットダウン」の順にクリックします。
しばらくすると、Windows が終了します。
2. 本体の電源ボタンを押し、Windows が起動するまで待ちます。

2 富士通アドバイザーの「トラブル解決」を見る (→ P.39)

3 FMV サポートページを見る

<http://azby.fmworld.net/support/>

最新のお問い合わせ内容をもとに、様々なトラブル解決方法をご案内しています。

FMV サポートページは、富士通アドバイザーからご覧になれます (→ P.39)。

4 パソコンを以前の状態に戻す (→ P.42)

5 「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に相談する (→ P.49)

アプリの使い方

アプリの提供会社にお問い合わせください。ホームページなどに、活用事例や Q&A 事例などが掲載されている場合もあります。

※ 搭載されているアプリは、お使いの機種により異なります。

「Word」や「Excel」、「Outlook」（メールアプリ）などの Office 製品のお問い合わせ先

<p>オフィス ホーム ビジネス Office Home & Business 2019</p> <p>オフィス パーソナル Office Personal 2019</p> <p>エクセル ワンノート アウトLOOK パワーポイント 「Excel」、「OneNote」、「Outlook」、「PowerPoint」、 ワード 「Word」、「楽しもう Office」のお問い合わせ先もこちら です。</p>	<p>日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト サポート窓口 電話：0120-54-2244 受付時間：月～金／9:00～18:00、 土・日／10:00～18:00（祝祭日、指定休業日を除く） URL：http://support.microsoft.com/contactus/</p>
--	---

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ウイルス対策アプリのお問い合わせ先

「マカフィー リブセーフ 3年無償版」をご利用いただけます。

<p>マカフィー リブセーフ McAfee Security</p> <p>※マカフィー リブセーフ、McAfee Securityの有効期限まで、サポートいたします。</p>	<p>マカフィー株式会社 カスタマーサポート 電話：0570-000-500</p> <p>①インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 受付時間：9:00～21:00（年中無休）</p> <p>②ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 受付時間：9:00～18:00（土・日・祝祭日を除く） URL：https://www.mcafee.com/japan/home/support/ お問い合わせ：https://service.mcafee.com/</p>
--	--

その他のアプリのお問い合わせ先

本製品に搭載されているアプリで、次のアプリ以外は弊社がサポートいたします。

<p>Corel® PaintShop® Pro 2019 SE</p>	<p>コーレル株式会社 コーレルサポートセンター 電話：0570-003-002（ナビダイヤル） 受付時間：10:00～12:00、13:30～17:30（土・日・祝祭日・指定休業日を除く） URL：http://www.corel.jp/support お問い合わせフォーム： https://support.corel.com/hc/ja/requests/new?ticket_form_id=209638</p>
<p>i-フィルター</p> <p>※試用期間中、サポートいたします。</p>	<p>デジタルアーツ株式会社 サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く） URL：https://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：https://www.daj.jp/ask/</p>
<p>PowerDirector 16 Power Media Player</p>	<p>サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート 電話：0570-080-110（ナビダイヤル）、 03-5205-7670（PHS・一部のIP電話から） 受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く） URL：http://jp.cyberlink.com/support/index.html お問合せ専用 Web フォーム： http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/contact-support.jsp</p>

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ソフト使い放題	株式会社オプティム ソフ得 ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 ご契約後のお客様 050-3734-4960 受付時間：10:00～18:00（年中無休） FAQ： http://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム： http://www.optim.co.jp/contents/12049
筆ぐるめ 26	富士ソフト株式会社 筆ぐるめ インフォメーションセンター 電話（ナビダイヤル）：0570-550-211 （IP 電話 /PHS の場合：03-5638-6139） 受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00 （土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／11月1日から12月30日までは無休（12月30日は12:00まで）） URL： https://fudegurume.jp/ Eメール：users@fsi.co.jp

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。






よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。



起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルが正しく接続されていない	電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください（→P.19）。
	メインスイッチがOFFになっている（WD2/D2の場合）	パソコン本体背面のメインスイッチを「 」側に切り替えます。
	上記の対処で解決しない	電源ケーブルをいったん取り外し、2～3分放置後、再び取り付けてください。
ブープ音（ブザー）が鳴る	連続して誤ったBIOSパスワードを入力した	電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切ります。電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを差し直し、電源を入れ直してください。 なお、大文字と小文字で区別されますので、ご注意ください。

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	ディスプレイのマニュアルをご覧ください。画面を明るくしてください。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。(ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ストレージが壊れる可能性があります。) 電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを差し直し、電源を入れ直してください。 なお、ストレージに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください。正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください (→ P.46)。
電源が切れない	Windows が正しく動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 ストレージが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ストレージが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 2. [Tab] で画面右下の  を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	マウスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1.  を押す。 2. [Tab] を1回押す。 3. カーソルキーで  (電源) を選択して [Enter] を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。(ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ストレージが壊れる可能性があります。) そのあと電源プラグを抜きます。なお、ストレージに保存されていない作業中のデータは失われます。
勝手に電源が入る	他のワイヤレスキーボードを誤認している	 『取扱説明書<活用ガイド>』の「ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウス」をご覧ください。再認識させてください。  『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのトラブル

■ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス添付機種

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスが使えない	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている	「キーボード／マウスを準備する」の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」をご覧ください。電池を正しくセットしてください（→P.23）。
	ワイヤレスキーボードまたはワイヤレスマウスの電源が入っていない	ワイヤレスキーボードの背面またはワイヤレスマウスの底面の電源スイッチをONしてください。
	正しく認識されていない	次の手順でパソコンに再認識させてください。 1. パソコンの電源が入っている状態で、ワイヤレスレシーバーを取り外す。 2. キーボードまたはマウスの電源スイッチをOFF側にする。 3. キーボードまたはマウスの電源スイッチをON側にし、CONNECT ボタンを押す。 4. 状態表示ランプが点滅している間に、ワイヤレスレシーバーをパソコン本体のUSBポートに取り付ける。 詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」をご覧ください（  『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

ここまでの内容を確認しても解決しない場合、富士通ハードウェア診断ツールを使います。このパソコンのハードウェア（GPU、メモリ、ディスプレイなど）に問題がないか自動で診断します。

簡易診断、詳細な診断の2段階で診断を行います。

- パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
 - 診断したいハードウェアを選択できます。
 - 診断時間は5～20分程度です（診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります）。
- 富士通ハードウェア診断ツールは、キーボードで操作します。

- 1 BIOSの設定をご購入時の状態に戻します（→P.47）。
- 2 USBメモリや外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
- 3 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを挿し直します。

4 「起動メニュー」を表示します。

USB キーボードの場合、**[F12]** を押しながら、パソコンの電源を入れます。
ワイヤレスキーボードの場合、パソコンの電源を入れた直後に、**[F12]** をトントントンと何度も押します。

5 起動メニューが表示されたら、**[F12]** を押すのをやめます。

6 **[↓]** を押して、「診断プログラム」を選択し、**[Enter]** を押します。

7 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、**[Y]** を押します。

簡易診断が始まります。診断が終了すると、診断結果が表示されます。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、**[Y]** を押してパソコンの電源を切ってください。

■問題がない場合

[Enter] を押して、次の手順に進んでください。

8 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面が表示されます。

9 「診断」タブをクリックします。

診断したいアイコンにチェックが付いていることを確認します。

重要

▶ ハードディスクを診断する場合は、次の操作を行ってください。

1. 「ハードディスク」のアイコンを右クリックします。
2. 表示された画面で、「ディスク0」にチェックが付いていることを確認します。「ディスク 0」、「ディスク 1」など複数のディスクが表示されている場合は、すべてのディスクにチェックを付けます。
3. 「OK」をクリックします。

10 「実行」をクリックします。

診断が始まります。

Point

▶ 「CD/DVD/BD ライブにCD-ROMまたはDVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちのCDやDVDを光学ドライブにセットして「診断開始」をクリックしてください。

ただし、データが書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などのDVD、およびコピーコントロールCDなど）は使用できません。

▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■ エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■ 問題がない場合

手順14まで行った後、「パソコンを以前の状態に戻す」(→P.48)に進んでください。

12 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面に戻ります。

13 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

14 「はい」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

□ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

1 USBメモリや外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを挿し直します。

3 「起動メニュー」を表示します。

USBキーボードの場合、**[F12]**を押しながら、パソコンの電源を入れます。

ワイヤレスキーボードの場合、パソコンの電源を入れた直後に、**[F12]**をトントントンと何度も押します。

4 起動メニューが表示されたら、**[F12]**を押すのをやめます。

5 **[↓]**を押し、「BIOS セットアップ」を選択して、**[Enter]**を押します。

BIOSの画面が表示されます。

Point

▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。



▶ BIOSの画面が表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。さらに電源プラグを抜き、30秒以上待ってから電源プラグを指し直します。10秒以上待った後、手順3から操作をやり直してください。

6 **[←]**、**[→]**、**[↑]**、または**[↓]**で「終了」メニュー▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで**[Enter]**を押します。

7 「はい」を選んで**[Enter]**を押します。

8 「変更を保存して終了する」を選んで**[Enter]**を押します。

9 「はい」を選んで**[Enter]**を押します。

BIOSセットアップについて詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「BIOS の設定」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。

パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットの Q&A でも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したデータや設定が削除されてしまう場合があります、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、次の説明の参照先に記載された注意事項を必ず確認したうえで行ってください。このパソコンでは2つの方法でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

- 「システムイメージバックアップ」から復元する
「システムイメージバックアップ」を作成している場合、作成した時点に戻すことができます。
バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。
詳しくは、「Cドライブバックアップガイド」(→P.41) をご覧ください。

- この PC を初期状態に戻す
「システムイメージバックアップ」を作成していない場合は、Windows 10 の機能「この PC を初期状態に戻す」を使い、パソコンをご購入時に近い状態に戻すことができます。
ご購入時に近い状態に戻るため、現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、設定を復元したりなど大変手間がかかる場合があります。
詳しくは、「パソコンを初期状態に戻す (リカバリ)」(→ P.52) をご覧ください。

「ネットで故障診断」で診断する

お使いのパソコンが動作しない場合も、他のパソコンやスマートフォンから、画面上で質問に答えていくことで、トラブルを診断し、解決できる場合があります。



<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせたさまざまな方法でお問い合わせができます。

※ 最新の情報は FMV サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) でご覧ください。



“メール”で相談する

スマートフォン対応

<http://azby.fmworld.net/maillsupport>

Q&A・パソコン活用情報を検索すると専用の質問フォームが表示されます。質問フォームよりお問い合わせをいただいたら後日メールで回答いたします。



- 1 Q&Aで調べる
- 2 質問フォームに入力する
- 3 メールで回答

各Q&Aページの下のほうに質問フォームを表示するボタンがあります。
*ユーザー登録が必要となります。

Q&Aで問題が解決しないときは、下記の方法もお試ください。



詳しい人に聞く
- OKCorporation -



メールサポートを利用する



サポートコール予約を利用する



“Twitter”でアドバイスを受ける

スマートフォン対応

TwitterのFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。
お役立ちQ&Aを紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも!([富士通]「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう)

FMV公式アカウント:@Fujitsu_FMV_QA

- *お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
- *お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
- *お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- *Twitterの特性を最大限に活かすため、お客様とのやり取りはみなさまに見える状態でツイートいたします。



“電話”で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「お問い合わせ窓口を利用するうえでの注意」をご覧ください。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決! 便利で簡単にご利用できます。

電話相談は予約することもできます。ご予約の時間にサポート担当からお電話を差し上げます。予約時に相談内容を入力していただくため、スムーズにサポートできます。

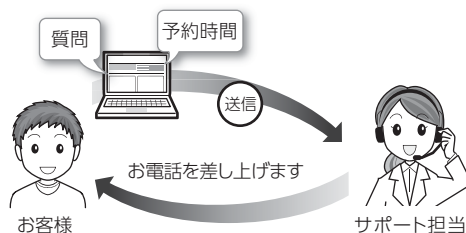
サポートコール予約

スマートフォン対応



<http://azby.fmworld.net/callback>

- *ユーザー登録が必要となります。
- *弊社からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。また日本語対応のみとなります。



使い方、技術相談、修理相談、欠品、すべてこちら



通話料無料

0120-950-222

受付時間：9:00～19:00

携帯電話PHS、IP電話、海外からはこちら
(通話料金お客様負担)

045-514-2255

受付時間：9:00～17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。

- ※電話番号はお間違えないように、十分ご確認のうえおかけください。
- ※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
- ※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
- ※ユーザー登録されている電話番号とおお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

お問い合わせ窓口を利用するうえでの注意

価格は消費税 10% で表示しております。

■ご利用料金

●パソコン本体に初めて電源を入れた日(保証開始日)から、1年間無料でご利用いただけます。[注]

注： Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,090円(税込)となります。また、受付時間は月～金曜日(祝日を除く)9時～17時となります。

●2年目以降

お問い合わせ 1 件あたり 2,090 円 (税込)

※ My CloudカードまたはMy Cloudプレミアムカードでお支払いの場合は、1,570円/件(税込)でご利用いただけます。

詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

- ▶ 保証開始日および型名は「富士通アドバイザー」(→ P.38) の画面右上から確認できます。
- ▶ お問い合わせ 1 件は、お電話の回数ではなく、技術相談 1 項目ごとに 1 件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません(ただし 14 日以内に限りです)。

■お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジット カード	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限を入力してください。
コンビニ 振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途 210 円かかります。

■お問い合わせ前に確認してください

- ユーザー登録はしましたか？
ユーザー登録方法は「「はじめに行う設定」で初期設定する」(→ P.34) の手順 6 をご覧ください。
- お使いのパソコンをお手元にご用意いただけますか？
お電話中に操作を行っていただく場合があります。

修理の申し込み

修理を申し込むうえでの注意

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.62) を確認のうえ、同意をお願いします。
 - ・修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては第 13 条(個人情報の取り扱い) をご覧ください。
- ホームページで概算修理料金を確認できます。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>
- 保証書をお手元にご用意ください。
保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日(保証開始日)から 1 年間となります(→ P.50)。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。
- 故障品をお手元にご用意ください。
お申し込み時に操作いただく場合があります。
- BIOS パスワード、ハードディスクパスワードは事前に解除してください。
確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。
- 「デバイス暗号化の回復キーを保管する」(→ P.38) をご覧になり、必要に応じて回復キーを保管してください。
- データのバックアップをおとりください。
修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置(ストレージなど)内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
バックアップの方法については、「バックアップする」(→ P.41) をご覧ください。
また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」(有料) もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

修理の申し込み方法

ホームページまたは電話でお申し込みください。

■ホームページ

ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

パソコンが故障しているかどうかを調べ、ホームページから修理を申し込むことができます。

■電話

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」(→ P.49) の「使い方、技術相談、修理相談、欠品、すべてこちら」をご覧ください。

お引き取りとお届け (パソコン修理便)

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンをお引き取りに伺います。お引き取りから修理・お届けまで約7日間です(土・日・祝日を含む)。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。離島の場合は船便のための日数がかかります。交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯(9:00～21:00[注])で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。

■お引き取りについて

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

- 保証書を用意してください(保証期間中の場合)。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。
- 宅配業者がお渡する「お預かり伝票」を大切に保管してください。
- お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内(保証開始日より1年間)：無料(保証書記載の「無料修理規定」による)(→ P.50)
- ・保証期間外：有料(修理にかかる部品代、技術料等)

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」(8桁の番号)を入力してください。

- ホームページでメールアドレスを登録すると、故障品の弊社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをお知らせします。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・
携帯電話から

[http://azby.fmworld.net/
support/pcrepair/](http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/)



電話の音声ガイダンスでも確認できます

0120-215-265

☎ 通話料無料/受付時間：24時間365日

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。

※携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種メーカーにお問い合わせください。

※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

その他の修理サービスのご案内

その他の修理サービス一覧

<http://azby.fmworld.net/support/repair/>

次のような修理サービスもご用意しています。詳細はホームページでご確認ください。

※保証期間内であっても別途料金が必要になります。

- 訪問修理サービス(有料)
弊社指定の修理サービス会社をご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。
- PC引取点検サービス(有料)
パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・ソフトウェアの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）

Windows 10 には、トラブルに備え、パソコンを以前の状態に戻す機能が搭載されています。

パソコンをご購入時に近い状態に戻すことをリカバリと言います。Windows の画面では「この PC を初期状態に戻す」と表示されています。

リカバリを行う場合とは


リカバリすると、パソコンはご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。

現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。そのため「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.38) と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧ください。すべて対処しても解決しなかった場合のみ行ってください。

重要

- ▶ リカバリするときに回復キーが必要になる場合があります。トラブルに備え、できるだけ早く保管してください。
取得方法は「デバイス暗号化の回復キーを保管する」(→ P.38) をご覧ください。
- ▶ リカバリのためのデータは、パソコン内に保存されていますが、そのデータが破損したときは、回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリします。
「回復ドライブ（リカバリ用）を作成する」(→ P.37) をご覧になりできるだけ早く作成してください。
- ▶ 回復ドライブ（リカバリ用）を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリを購入してリカバリしてください (→ P.56)。

Point

- ▶ パソコン内のデータを使用してのリカバリ、回復ドライブ（リカバリ用）、リカバリ USB メモリでは、リカバリ後のパソコンの状態は少しずつ異なります。
「FMV-初期状態に戻す（リカバリ）ガイド」で違いを説明しています。
 ▶ 「FMV-初期状態に戻す（リカバリ）ガイド」の順にクリックしてご覧ください。

リカバリ方法の種類

ご購入時に近い状態に戻したいときは「すべて削除する」を行ってください。

- すべて削除する
 - ・ ファイルの削除のみ行う
ほぼご購入時の状態に戻ります。ローカルアカウントも削除されるので、セットアップをやり直す必要があります。
 - ・ ドライブを完全にクリーンアップする
消去されるものは「すべて削除する（ファイルの削除のみ行う）」と同じですが、簡単にデータ復元できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間^注かかります。他人にパソコンを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。
注：HDD/SSDの容量が大きいほど長くなります。
3TBの場合は8時間以上かかることもあります。

Point

- ▶ パソコンから「この PC を初期状態に戻す」を行った場合、Windows はロールアップが適用された状態に戻ります。ドライバーは最新のロールアップ適用前に戻ります。
ロールアップとは、修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように1つにまとめた累積的なパッケージです。
- ▶ 回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリした場合は、Windows とドライバーはほぼ回復ドライブ（リカバリ用）作成時点の状態に戻ります。
- ▶ このパソコンを購入したときにインストールされていたアプリはインストールされた状態に戻ります。
- 個人用ファイルを保持する
一部のデータが保持されるため、Windows のトラブルによってはこの方法で問題解決できないこともあります。
Windows、ドライバー、アプリの状態は「すべて削除する」を行ったときと同じようにほぼご購入時の状態になります。また、使い始めてから作った次のデータや設定は削除されず保持されます。

- ・クイックアクセスに登録されたフォルダーなどのユーザーの個人用ファイル
個人用ファイルは「C:\Users」配下のデータです。

ただし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。

C:\Users¥[ユーザー名]¥AppData

- ・「ごみ箱」内のデータ
- ・ユーザーアカウント
- ・インターネットや無線LANなどのネットワーク接続設定
- ・「設定」ウィンドウの設定

消去されないデータについても念のためバックアップをとったり、メモしたりすることをお勧めします。

このPCを初期状態に戻す(リカバリ)準備

リカバリするうえでの注意

■バックアップをとってください

リカバリすると、消去されるデータがあります(→P.52)。必要なデータはバックアップしてください。詳しくは、「バックアップする」(→P.41)をご覧ください。

■外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器(プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI入力/出力端子、USBコネクタに接続しているすべての周辺機器)は取り外してください

アンテナケーブルやLANケーブルなど接続できる機種をお使いの場合はすべて抜いてください。

接続したままだと本書の手順と異なってしまう場合があります。

■メモリーカードは取り外してください

メモリーカードをセットしていると、本書の手順と異なってしまう場合があります。

■リカバリ中は他の操作をしないでください
むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

途中で中断したり、パソコンの電源を切ったりすることはできません。消去されたアプリなどを再インストールしたり、バックアップしたデータを復元したりするとさらに時間がかかります。時間に余裕をもって、じっくりと作業することをお勧めします。

リカバリ中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの(↑) (↓) (←) (→) や(Shift)を押してください。それでも復帰(レジューム)しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。その後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■エラーメッセージが表示された

次のようなメッセージが表示された場合は、キーボードの(F12)を押してください。

OSまたはアプリケーションからTPMをクリアする要求が発行されました。

注意：TPMがクリアされ、暗号化されたデータにアクセスできなくなります。

<F12> キーを押すと実行します。

<Esc> キーを押すと変更しません。

このPCを初期状態に戻す(リカバリ)

「このPCを初期状態に戻す(リカバリ)準備」(→P.53)をよくお読みになり、必要なバックアップなど準備を済ませてから実行してください。

まず「パソコン内のデータからリカバリする」(→P.54)をご覧ください。操作がうまくいかなかった場合や、操作後もパソコンのトラブルが継続した場合は、「回復ドライブ(リカバリ用)からリカバリする」(→P.55)をご覧ください。リカバリしてください。



Point

- ▶ 回復ドライブ(リカバリ用)からリカバリした場合は、Windowsとドライバーはほぼ回復ドライブ(リカバリ用)作成時点の状態に戻ります。そのためパソコンを現在お使いの状態に戻すには、より手間がかかります。

パソコン内のデータからリカバリする

パソコンの電源が切れた状態から「オプションの選択」画面を表示して操作します。

Point

- ▶ Windowsが起動した状態からも操作できます。
 1.  ▶  (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にクリックします。
 2. 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をクリックします。
 3. ウィンドウ右の「今すぐ再起動」をクリックします。

「オプションの選択」画面が表示されたら、手順4から操作してください。

1 起動メニューを表示します。

USBキーボードの場合、**[F12]**を押しながら、パソコンの電源を入れます。ワイヤレスキーボードの場合、パソコンの電源を入れた直後に、**[F12]**をトントントンと何度も押します。

2 起動メニューが表示されたら、**[F12]**を押すのをやめます。

3 を押し、「Windows 回復環境」を選択して **[Enter]** を押します。

4 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。

5 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「このPCを初期状態に戻す」をクリックします。

6 「すべて削除する」をクリックします。

Point

- ▶ 個人用ファイルを保持する場合は「個人用ファイルを保存する」をクリックします。その後の操作は「個人用ファイルを保持する場合は」(→P.54)をご覧ください。

7 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。

8 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。 データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「リカバリ方法の種類」(→P.52)をご確認ください。

9 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。 リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。

10 PC設定の説明画面が表示されたら、「セットアップする」(→P.15)をご覧ください。セットアップします。 「リカバリ後にセットアップするときの注意」(→P.55)もあわせてご覧ください。

■個人用ファイルを保持する場合は

「パソコン内のデータからリカバリする」の手順6(→P.54)で「個人用ファイルを保存する」をクリックした後の手順です。

1 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示されたら、お使いのアカウントをクリックします。

Point

- ▶ 姓を設定していないアカウントをお使いの場合、以前取得したローカルアカウント名などが表示されることがあります。表示されたアカウント名を選択してください。

- 2 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示されたら、パスワードを入力し、「続行」をクリックします。
- 3 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。
リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。MicrosoftアカウントのパスワードまたはPIN入力を求められた場合は入力してください。デスクトップが表示されたら、リカバリは完了です。
・デスクトップアプリが消去された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。消去されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。

回復ドライブ (リカバリ用) からリカバリする

- 1 電源が切れた状態で、回復ドライブ (リカバリ用) を作成したUSBメモリをパソコン本体のUSBコネクタに接続します。
- 2 起動メニューを表示します。
USBキーボードの場合、**(F12)** を押しながら、パソコンの電源を入れます。
ワイヤレスキーボードの場合、パソコンの電源を入れた直後に、**(F12)** をトントントンと何度も押します。
- 3 起動メニューが表示されたら、**(F12)** を押すのをやめます。
- 4 **(↓)** を押し、接続したUSBメモリを選択し、**(Enter)** を押します。
- 5 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。
- 6 「オプションの選択」画面が表示されたら「ドライブから回復する」をクリックします。
- 7 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。

- 8 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。
データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「リカバリ方法の種類」(→P.52)をご確認ください。
- 9 「準備が完了しました。」と表示されたら、「回復」をクリックします。
リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。
- 10 この後は、「セットアップする」(→P.15) をご覧になり、セットアップします。
「リカバリ後にセットアップするときの注意」(→P.55) もあわせてご覧ください。

■リカバリ後にセットアップするときの注意

- 富士通パソコンユーザー登録が済んでいれば、再度行う必要はありません。「富士通パソコンに関するご利用登録」画面でメールアドレスの入力は不要です。
- 使い始めてから1年程度たってから回復ドライブ (リカバリ用) やリカバリUSBメモリを使ってリカバリした場合、手でWindows Updateを適用しないとWindowsが最新の状態にならない場合があります。
Windows (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」▶ 「Windows Update」の順にクリックして更新してください。
- すべての手順を終え、セットアップを完了させた後、デバイス暗号化が無効になる場合があります。次の手順でデバイス暗号化の状態を確認し、必要に応じて有効にしてください。
 1. MicrosoftアカウントでWindowsにサインインします。
 2. **Windows (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」**の順にクリックします。
 3. 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「デバイスの暗号化」をクリックします。
 4. 「デバイス暗号化が無効になっています。」と表示されている下にある「オンにする」をクリックします。

リカバリ USB メモリを購入して リカバリする

Windows が起動しない場合、回復ドライブ（リカバリ用）を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリから起動してご購入時の状態に戻すリカバリを行うと回復できることがあります。

- リカバリUSBメモリを購入してリカバリすると、パソコンはご購入時の状態とまったく同じ状態に戻ります。そのため、セットアップが必要になります。
- リカバリ USB メモリは、ホームページから購入できます。

「リカバリメディア有償サービス」

<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>

Point



- ▶ リカバリ方法は、リカバリ USB メモリに同梱されたマニュアルをご覧ください。




パソコンの電源を完全に切るには

日常的なパソコンの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要




- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
 - ・メモリを取り付ける／取り外す（対象機種のみ）
 - ・BIOS セットアップを起動する
- 上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。

詳しくは、「取扱説明書<活用ガイド>」の「Windowsを終了する」をご覧ください（「取扱説明書<活用ガイド>」の読み方はP.39をご覧ください）。

- 1   (設定)  「更新とセキュリティ」の順にクリックします。
- 2 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をクリックします。
- 3 ウィンドウ右の「今すぐ再起動」をクリックします。
- 4 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PCの電源を切る」をクリックします。

起動メニューの表示のしかた

回復ドライブ（リカバリ用）やリカバリ USB メモリから起動する場合などに、起動メニューを表示します。パソコンの電源が切れた状態から操作を開始します。

- 1 次の操作をします。
 - USB キーボードの場合、 を押しながら、パソコンの電源を入れます。
 - ワイヤレスキーボードの場合、パソコンの電源を入れた直後に、 をトントントンと何度も押します。
- 2 起動メニューが表示されたら、 を押すのをやめます。

Point

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、画面の指示に従ってパスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、このパソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

パソコンを廃棄・リサイクルするときは

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、環境配慮のため次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	http://azby.fmworld.net/recycle/ ※ スマートフォンからもお申し込みできます。
お問い合わせ電話番号	03-5715-3140（通話料金お客様負担） 受付時間 9:00 ~ 17:00 （土・日・祝日および弊社指定の指定休日を除く）

Point

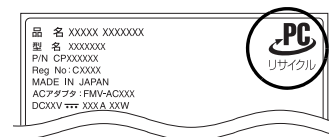
- ▶ 過去に販売された LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管に水銀が含まれているなど、パソコンを廃棄するときは環境配慮が必要です。

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。PC リサイクルマークが付いた使用済み弊社パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

PC リサイクルマークの付いていない弊社パソコンについては、有料で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク



- 注1: 装置銘板は機種により異なります。
- 注2: パソコン本体にカバーなどがある機種は、PCリサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

- ▶ 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へお申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。
法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、富士通のホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」（<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>）をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のストレージ上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ストレージに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があります。結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのストレージに記録されたデータは、削除したり、ストレージを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。

また、ストレージ上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有料）のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、FMV サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」（<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>）をご覧ください。

■データ消去ツール

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「データ消去ツール」が搭載されています。

「データ消去ツール」は、WindowsなどのOSによるファイル削除やフォーマットと違い、ストレージの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「データ消去ツール」の使用方法については、FMV サポートページからQ&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください（→P.42）。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分量の許可を取得している会社に処分を委託してください。

■使用済みバッテリーの取り扱いについて

バッテリーパックを交換できる機種のみ

- ・リチウムイオン電池のバッテリーパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリーは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクルBOXに入れてください。詳しくは、一般社団法人JBRC [ジェイビーアールシー] のホームページ（<http://www.jbrc.com/>）をご覧ください。

一般社団法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。



- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリーパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出してください。パソコンのリサイクルについては、「パソコンを廃棄・リサイクルするときは」（→P.57）をご覧ください。

□法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、富士通のホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」（<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>）をご覧ください。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れにくい位置を保って利用しましょう。
- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。
 - ・続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。
 - ・休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。なお、パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.38)の「サポート & サービス情報」の画面から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- パソコン本体の裏面、または、側面に貼付されたラベル
- 「富士通アドバイザー」(→ P.38)の画面右上



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、FMV サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます(→ P.42)。

■ESPRIMO WD-G/D2

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.61)をご覧ください。






シリーズ名	DH シリーズ	
品名	WD-G/D2	
CPU 注1	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-9700 プロセッサ／ インテル® Core™ i5-9500 プロセッサ	
メインメモリ注2	PC4-2666 DDR4 SDRAM DIMM、CL19 288ピン注9	
標準容量	【以下より選択可能】 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応／16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応／ 32GB (8GB×4) デュアルチャネル対応	
	最大容量	32GB
グラフィックスカード	NVIDIA GeForce RTX 2060	
光学ドライブ注4	スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL (2層) 書き込み対応)	
無線 LAN 注5	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56)
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注6
電源・周波数	AC100V・50/60Hz注7	
消費電力	ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください(→ P.59)。	
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)	約180×約304×約375mm (横置不可)	
本体質量	約8.0kg	

■ESPRIMO WD2/D2、WD1/D2

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→P.61)をご覧ください。

シリーズ名		DHシリーズ	
品名		WD2/D2	WD1/D2
CPU 注1		【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-9700 プロセッサ / インテル® Core™ i5-9500 プロセッサ / インテル® Core™ i3-9100 プロセッサ / インテル® Celeron® プロセッサ G4930	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-9700T プロセッサ / インテル® Core™ i3-9100T プロセッサ / インテル® Celeron® プロセッサ G4930T
メインメモリ注2		PC4-2666 DDR4 SDRAM DIMM、 CL19 288ピン注3	PC4-2666 DDR4 SDRAM SO-DIMM、 CL19 260ピン注11
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応 / 32GB (8GB×4) デュアルチャネル対応	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB	16GB
グラフィックスカード		【以下より選択可能】 なし / NVIDIA GeForce GTX 1050 Ti / NVIDIA Quadro P620	—
光学ドライブ注4		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL (2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	【以下より選択可能】 なし / スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL (2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線 LAN 注5	規格	【以下より選択可能】 なし / IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56)	
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注6	
電源・周波数		AC100V (ACアウトレット付)・50/60Hz注7	AC100V・50/60Hz注7
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→P.59)。	
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		<縦置き時> フット (設置台) を含む場合： 約142×約343×約347mm フット (設置台) を含まない場合： 約89×約343×約332mm注8	<縦置き時> フット (設置台) を含む場合： 約85×約191×約193mm フット (設置台) を含まない場合： 約55×約191×約186mm注10
本体質量		約6.5kg～約7.3kg	約2.1kg～約2.3kg

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2
- ・パリティチェック機能はありません。
 - ・メモリの組み合わせによっては、最大メモリ容量にするために、メモリスロットに搭載済みのメモリを取り外してから、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。
 - ・ご購入時のメモリの組み合わせなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「メモリ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。
- 注 3 インテル® Core™ i3-9100 プロセッサおよびインテル® Celeron® プロセッサ G4930 を選択した場合、PC4-2400 になります。インテル® Core™ i7-9700 プロセッサおよびインテル® Core™ i5-9500 プロセッサを選択した場合でも、ご購入後にメモリの増設や交換を行うと、PC4-2400 となります。
- 注 4 読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「仕様の調べ方」をご覧ください（→ P.59）。
- 注 5 無線 LAN の仕様については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「無線 LAN」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.39 をご覧ください）。
- 注 6 IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
- 注 7
- ・標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用）です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
 - ・入力波形は正弦波のみサポート。
- 注 8 横置き時の外形寸法（ゴム足含む）は、約 332 × 約 343 × 約 91mm です。
- 注 9 ご購入後にメモリの増設や交換を行うと、PC4-2400 となります。
- 注 10 横置き時の外形寸法（ゴム足含まず）は、約 186 × 約 191 × 約 55mm です。
- 注 11 インテル® Core™ i3-9100T プロセッサおよびインテル® Celeron® プロセッサ G4930T を選択した場合、PC4-2400 になります。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。

<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条 (本規定の適用)

- 富士通クライアントコンピューティング株式会社(以下「当社」といいます)は、お客様が当社のFMVサポートお問い合わせ窓口にて修理の依頼をされた場合、または当社の専用ホームページ「<http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>」(以下「専用ホームページ」といいます)にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されませんとします。
- 前項に基づき当社が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書(以下「保証書」といいます)裏面の無料修理規定(以下「無料修理規定」といいます)の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条 (対象機器)

本規定(基づく修理の対象となる機器(以下「対象機器」といいます))は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ(詳細は本規定末尾記載、以下同じ)および当該日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ用の当社製周辺機器(ただしプリンタは除きます)とします。

第3条 (修理の形態)

- 当社は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると当社が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があります。また、(1)引取修理(パソコン修理便) お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。(2)訪問修理 訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、当社指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費(フェリー代、宿泊代等)をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると当社が判断した場合は、当社は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から当社に送付していただきます。

第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、当社は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 保証書が対象機器に添付されていない場合
 - 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
 - ご使用上の誤り(水などの液体こぼれ、水没、落下等)、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
 - 火災、地震、水害、雷害その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
 - 当社指定の有寿命部品、消耗品(バッテリー、乾電池等)または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
 - 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
 - お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合(例:対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等)をい、以下同じとします)の場合
 - お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要となった場合
 - お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合(例:埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等)
- 1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、当社は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと当社が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後3日以内にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合(第6条第2項および第3項に定める場合を含みます)であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、当社指定の修理サービスの担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、当社は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺った内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。当社もしくは当社指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、当社は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただけます。

第8条 (修理期間)

- 引取修理の場合、当社は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があります。また、(1)お客様が伺った故障の現象が確認できず、修理箇所特定ができない場合(2)引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合(3)有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合(4)お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合(5)天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合(6)第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、当社は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、当社はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に必要な費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、当社は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、当社の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、当社では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 当社は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、当社は、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去等する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセッティング等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 当社は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き当社では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、当社ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨当社からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
 - a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
 - b. ウィルスの除去
 - c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
 - d. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (11) 訪問修理の場合であって、当社または当社指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。
2. 当社における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条 (個人情報の取り扱い)

1. 当社は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) お客様に有益と思われる当社または当社の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。
 - (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 当社は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 当社は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条 (責任の限定)

1. 当社が実施した修理に当社の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より当社にご連絡いただいた場合、当社は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 合理的な範囲で当社が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、当社は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとしません。
3. 対象機器の修理に関連して当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、当社は、当社の責に帰すことのできない事由から生じた損害、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、当社の故意または重大過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条 (変更)

1. 当社は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。
2. 当社が本サービスにかかる事業を第三者に譲渡する場合には、お客様の承諾を得ることなく、当該事業譲渡に伴い、本規約に基づく権利および義務ならびにお客様の登録情報その他の情報を当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとします。なお、本項に定める事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第 16 条 (反社会的勢力等の排除)

1. お客様は、自らが次の各号に記載する者（以下、「反社会的勢力等」という）に該当せず今後も該当しないこと、また、反社会的勢力等との関係を持っておらず今後も持たないことを確約します。
 - (1) 警察庁「組織犯罪対策要綱」記載の「暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等」その他これらに準ずる者
 - (2) 資金や便宜を供与したり、不正の利益を図る目的で利用するなど、前号に記載する者との人的・資金的・経済的に深い関係にある者
2. お客様は、自らまたは第三者を利用して、次の各号に記載する行為を行わないことを確約します。
 - (1) 詐術、暴力的行為または脅迫的言辞を用いる行為
 - (2) 違法行為または不当要求行為
 - (3) 業務を妨害する行為
 - (4) 名誉や信用等を毀損する行為
 - (5) 前各号に準ずる行為
3. 当社は、お客様が前各号に違反したときは、お客様に対して損害賠償義務を負うことなく、何等の催告なしにただちに本規定に基づく対象機器の修理および関連するサービスの提供を中止または拒否することができるものとします。

第 17 条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2019 年 4 月 1 日から実施します。

■対象機器

- ・ARROWS Tab シリーズ（個人向け Windows タブレット）
- ・arrows Tab シリーズ（個人向け Windows タブレット）
- ・FMV シリーズ ・ FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ・ESPRIMO / LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

品名: * H *** / ***
↑ ↑ ↑
アルファベット 数字またはアルファベット (1~3桁)
数字またはアルファベット・記号 (2~3桁)

品名: W * * * / * *
↑ ↑ ↑
数字またはアルファベット・数字またはアルファベット (1~2桁)
記号 (2~3桁)

品名: * H / R **
↑ ↑ ↑
アルファベット 数字またはアルファベット (1~2桁)

・その他、当社が別途「対象機器」と定める、富士通株式会社または富士通クライアントコンピューティング株式会社の製品

■商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Core、Celeron は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
NVIDIA、Quadro、GeForce、GeForce RTX は、NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。
Corel、Corel バルーンロゴ、PaintShop は、カナダ、アメリカ合衆国および / またはその他の国の Corel Corporation および / またはその関連会社の商標または登録商標です。
McAfee、マカフィー、McAfee のロゴ、LiveSafe、リブセーフは、米国法人 Intel Corporation または McAfee, Inc.、もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。
デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
MaxxAudio は、Waves Audio Ltd. の米国およびその他の国における登録商標です。
HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。 **HDMI**
REGISTERED MULTIMEDIA INTERFACE

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU CLIENT COMPUTING LIMITED 2019

<p>ESPRIMO 取扱説明書<スタートガイド> B6FK-2761-01-04 発行日：2019年7月 発行責任：富士通クライアントコンピューティング株式会社 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2 新川崎三井ビルディング（ウエストタワー）</p>	<ul style="list-style-type: none">●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。●無断転載を禁じます。●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
--	--

■ローマ字入力表

わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
	り RI		み MI	ひ HI	に NI	ち TI	し SI	き KI	い I
を WO	る RU	ゆ YU	む MU	ふ FU	ぬ NU	つ TU	す SU	く KU	う U
	れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
ん NN	ろ RO	よ YO	も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O
っ LTU	あ LA			ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA	
や LYA	い LI			ぴ PI	び BI	ぢ DI	じ ZI	ぎ GI	
ゆ LYU	う LU			ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU	ヴ VU
よ LYO	え LE			ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE	
	お LO			ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO	

小さい文字
小さい文字を入力するときは、
最初に「L」を押します。

※ 上記は基本的な一覧です。詳しくは、FMV サポートページ (http://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/romaji/) をご覧ください。

※ 小さい「っ」は、子音 (AIUEO 以外) を 2 回続けて押しても入力できます (例：にっき→NIKKI)。

■アカウントのメモ

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

Microsoft アカウント

@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※PINも、絶対に忘れないようにしてください。

富士通パソコンユーザー登録情報

ユーザー登録番号

メールアドレス
(My Cloud ID)

@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

富士通パソコン出張サービス PC家庭教師

パソコン設定はおまかせを!

設定や操作に困ったら、お電話ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します!



初期設定メニュー

通常価格

18,100円(税込)~



My Cloud プレミアム特典価格[20%OFF]※1

14,480円(税込)~

▶めんどろなMicrosoftアカウント登録も実施します。お気軽にご相談を!

主な
作業内容

開梱・設置



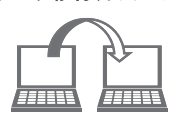
初期設定・ネット・
プリンタ設定など



操作レッスン
15分



旧パソコンからの
データ移行(オプション)※2



トラブル解決メニュー

通常価格

12,200円(税込)~



My Cloud プレミアム特典価格[20%OFF]※1

9,760円(税込)~

▶「ネットにつながらない」などのトラブルに、プロが解決に導きます!※3

トラブル
事例

インターネットに
つながらない



ウイルスに感染した



アップデート後に
おかしくなった



起動しない



周辺機器が
接続できない



メンテナンスメニュー

通常価格

17,100円(税込)~



My Cloud プレミアム特典価格[20%OFF]※1

13,680円(税込)~

▶「パソコンが遅くなった」と感じた方にオススメです。
不調原因を診断して、必要な改善作業を実施します!※4



その他、レッスンメニューもご用意しております。まずはお気軽にお電話ください!

通話料
無料

みんなつなぐよ
0120-37-2794

■受付時間: 10時~19時(年末年始、システムメンテナンス日を除く)

Webからも予約可能
詳細はホームページで!

富士通 家庭教師

検索

※1 月額サービス(有償)「My Cloud プレミアム」へのご加入が必要です。詳しくはお問い合わせください。訪問当日のご加入でも特典価格でご利用可能です。
※2 オプション料金がかかります。データ移行をバックにしたお得なメニューもございますので、詳しくはお問い合わせください。
※3 診断の結果、トラブル解決に必要な作業が発生した場合、作業に応じたオプション料金がかかります。
※4 パソコンの状態によっては著しい改善が見込めない場合もございます。
※ 電話での技術相談をご希望の場合は「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。
※ サービス内容、価格は2019年10月時点のものであり、予告なく変更する場合がございます。
なお、価格は消費税10%で表示しております。

